



特装版

とんがり帽子の
アトリエ

ATELIER OF WITCH HAT

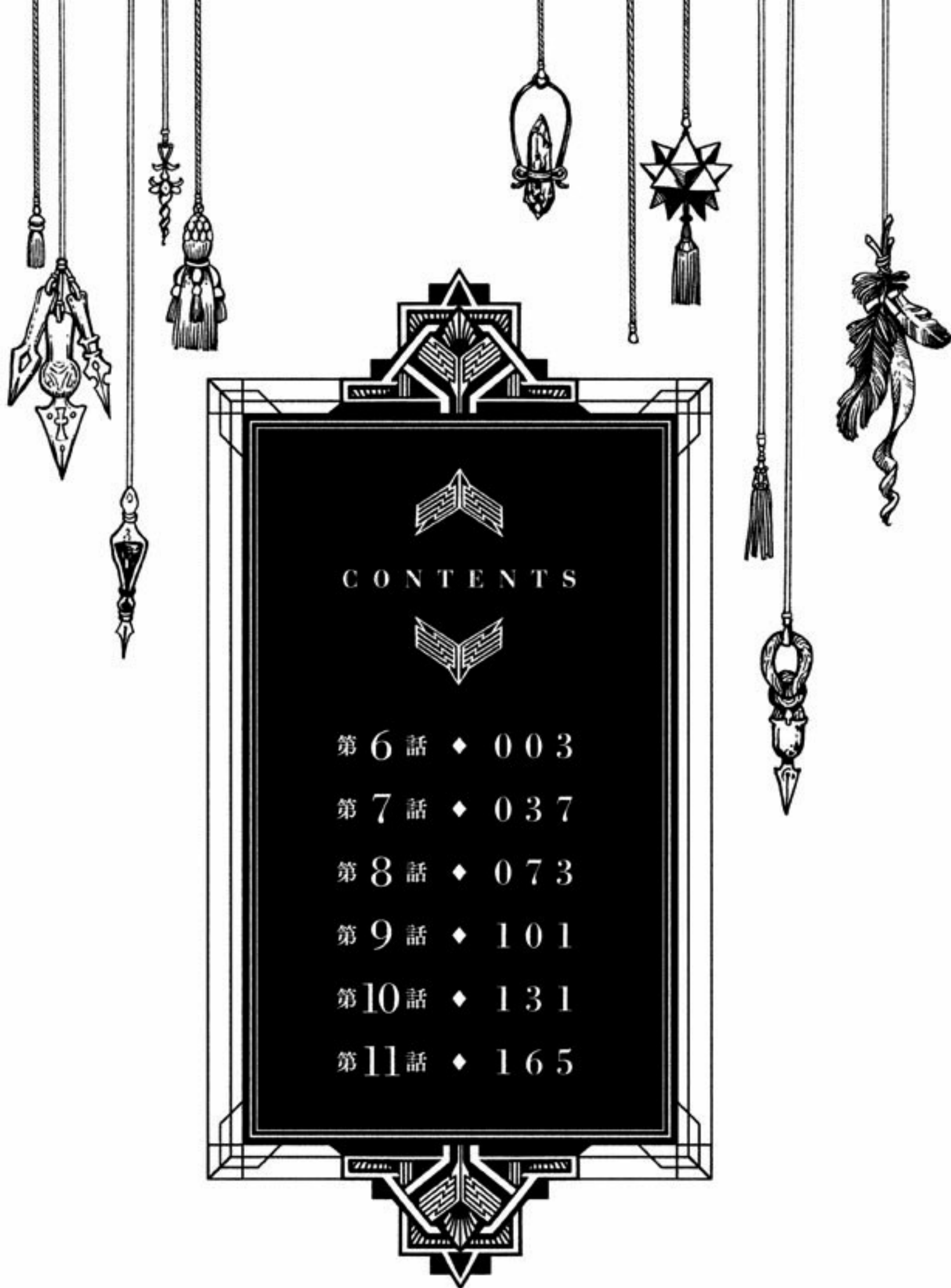
自浜 鴎

KAMOME SHIRAHAMA

2

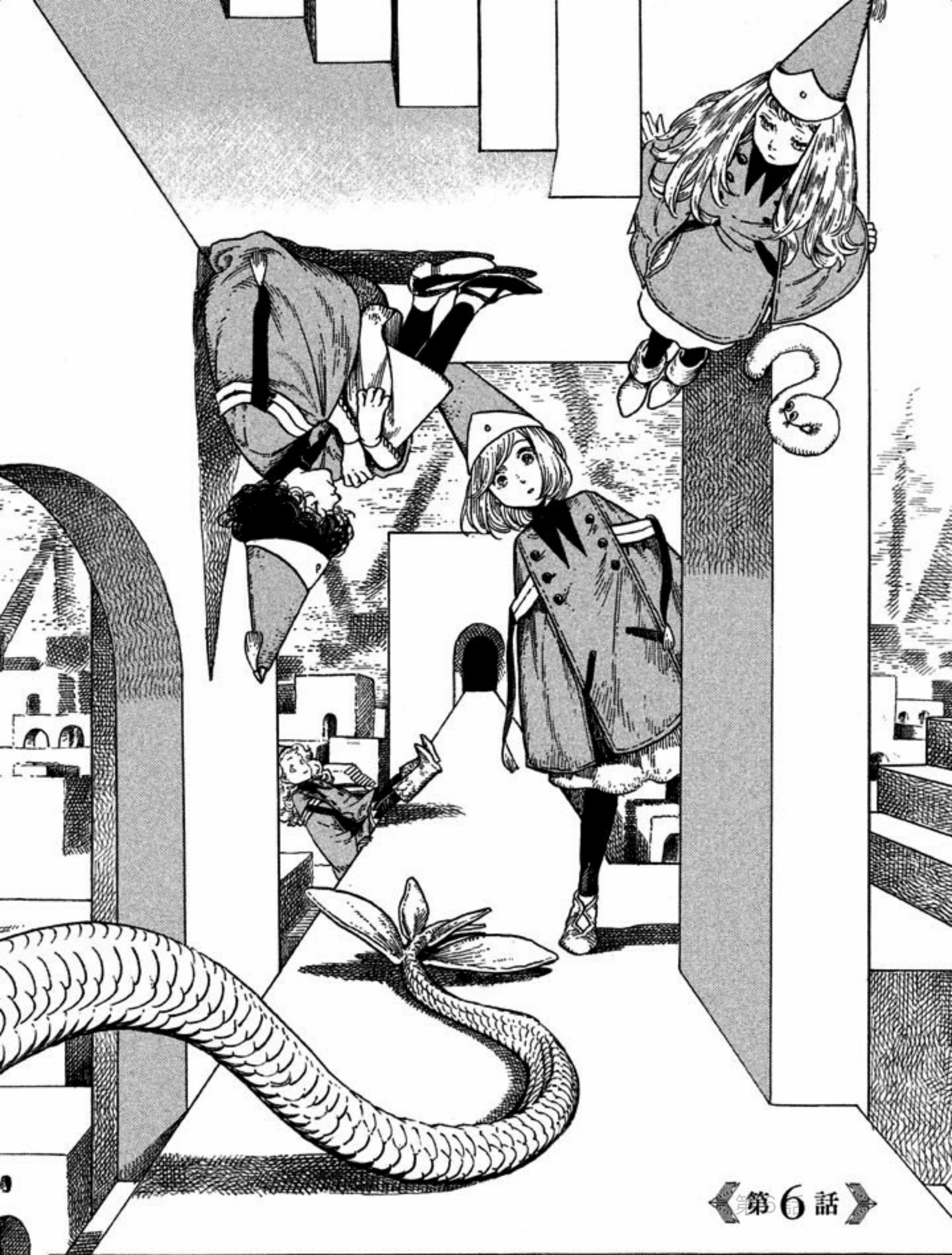
PREMIUM KC

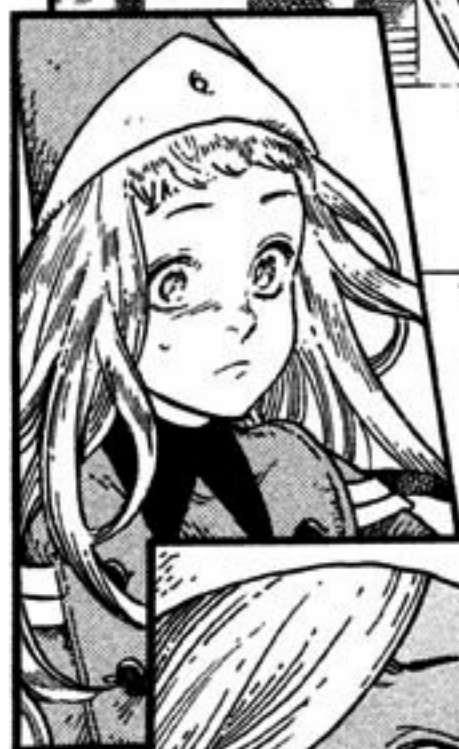




ATELIER OF WITCH HAT

◆
KAMOME
SHIRAHAMA





ドラゴン
巨鱗竜…!!



うそ
でしょ…



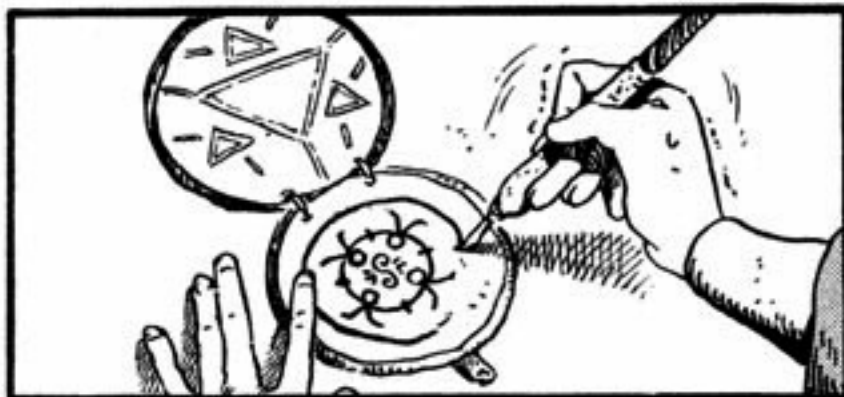








何も
言わなくても…







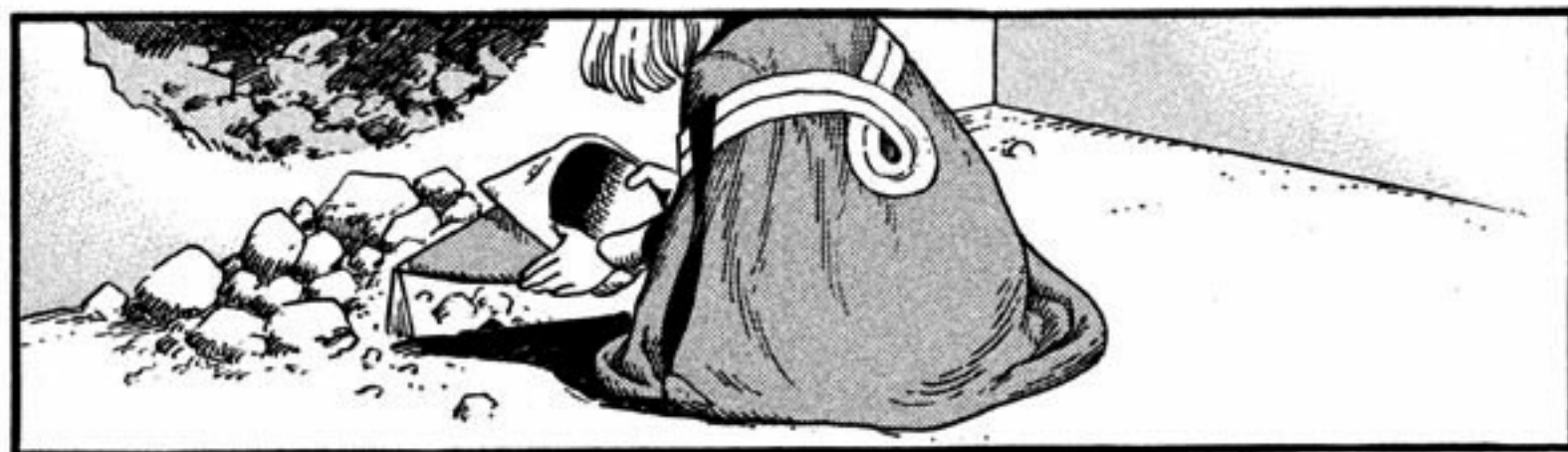




別に
どっちの意味に
とってもらっても
いいけど



行くわよ
テタイア



キ+フリ+
先生…

私
どうしたら
いいのかな







古の時代の
帽子や仮面で
顔を隠し

禁止魔法を
使う
危険な連中だ



タータ
君が見たのは
ココが会った
魔法使いと関係
あるかもしれない



ええと

何か他に
覚えてないか？
何でも
いいんだ！

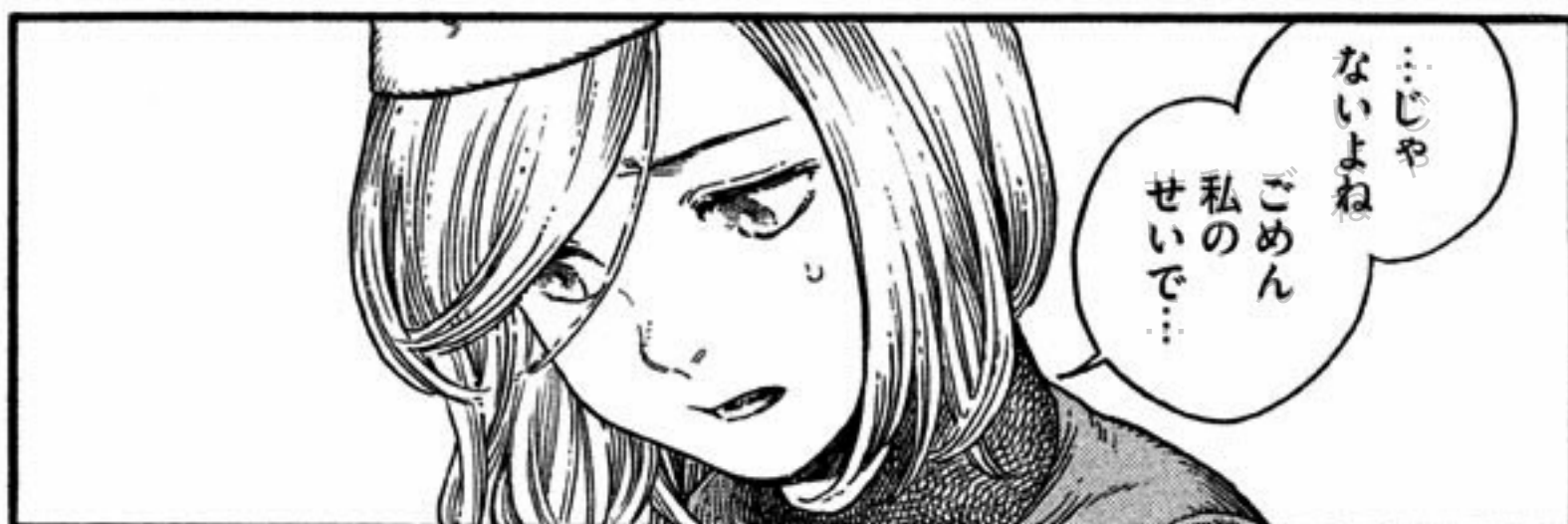
ココの存在が
手がかりになると
思っていたけど
まさか直接
接触してくる
なんて…













マントの中で
ふるえて
いても

怖くて
体をぎゅつて
してても全然
ばれない

外側は
魔法使いのままで
いられるの



それ
着てみて
びっくりしたまよ

すごく
安心するの



だから今は
テティアに
着てほしい

無知で
役立たずな
私なんかより

テティアたちの
魔法の力が
必要なだもん









これテティアの
オリジナル魔法
なんだ



すごく守って
くれてるよ!!
魔法めちやめちや
あったかいもん!

もうなんか
こんな
状況なのに
リラックス!

すごい!
魔法パワー
すごい!!

も、ふあー

も、ふあー



小さい頃
空飛ぶ雲に乗って
お昼寝して
みたくて

いつか実現
させようと思って
いろいろ試し描き
してるの

まだ
未完成
だけどね!



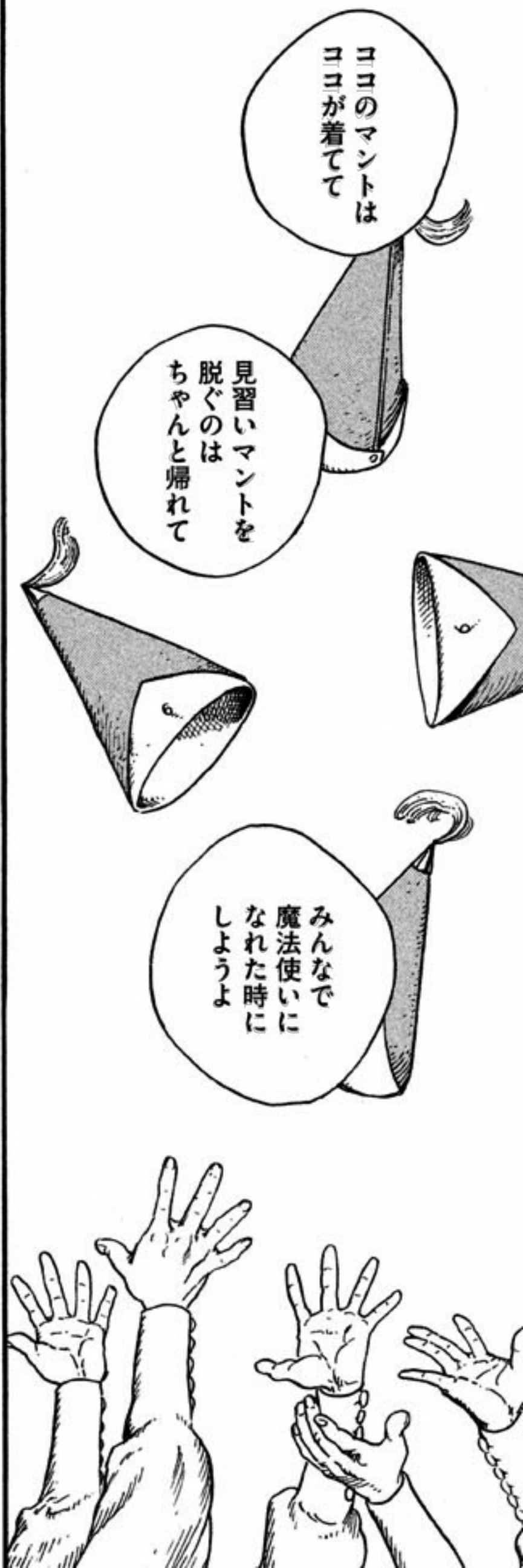
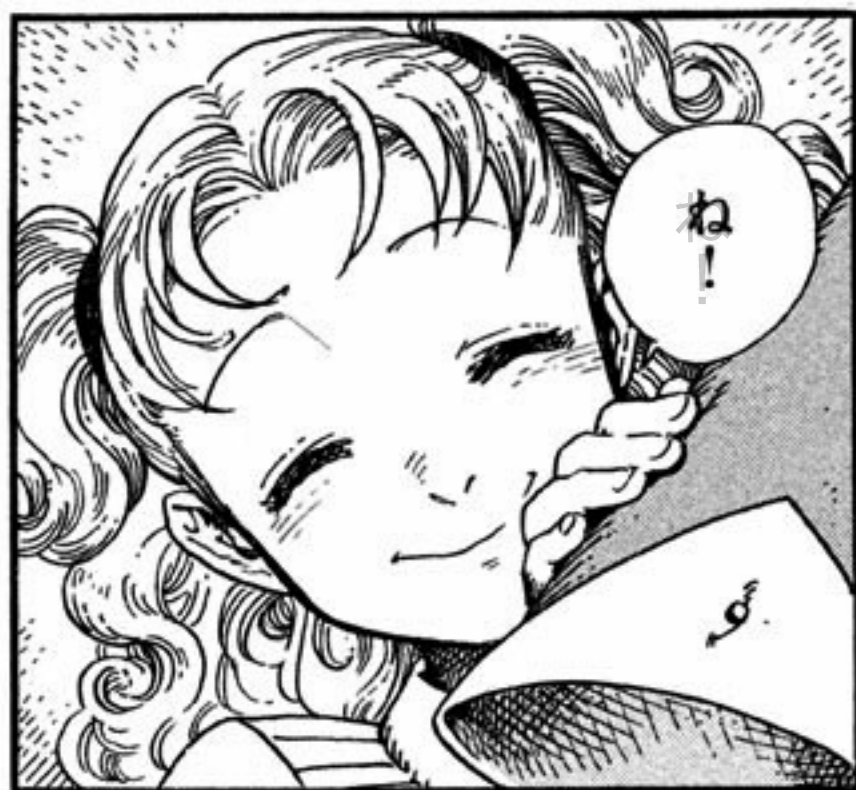
テティアの魔法も
そんなに役に
立たないけど
大事な夢なの

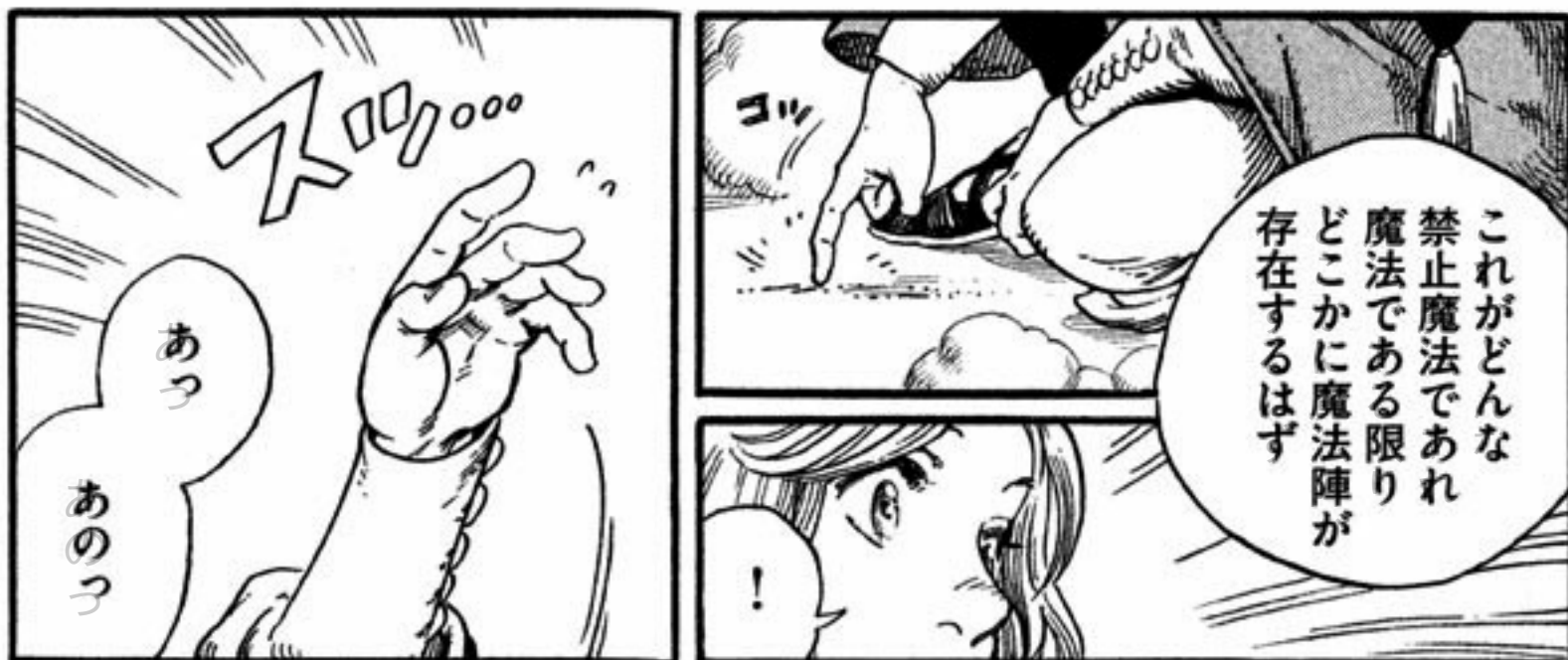
だから

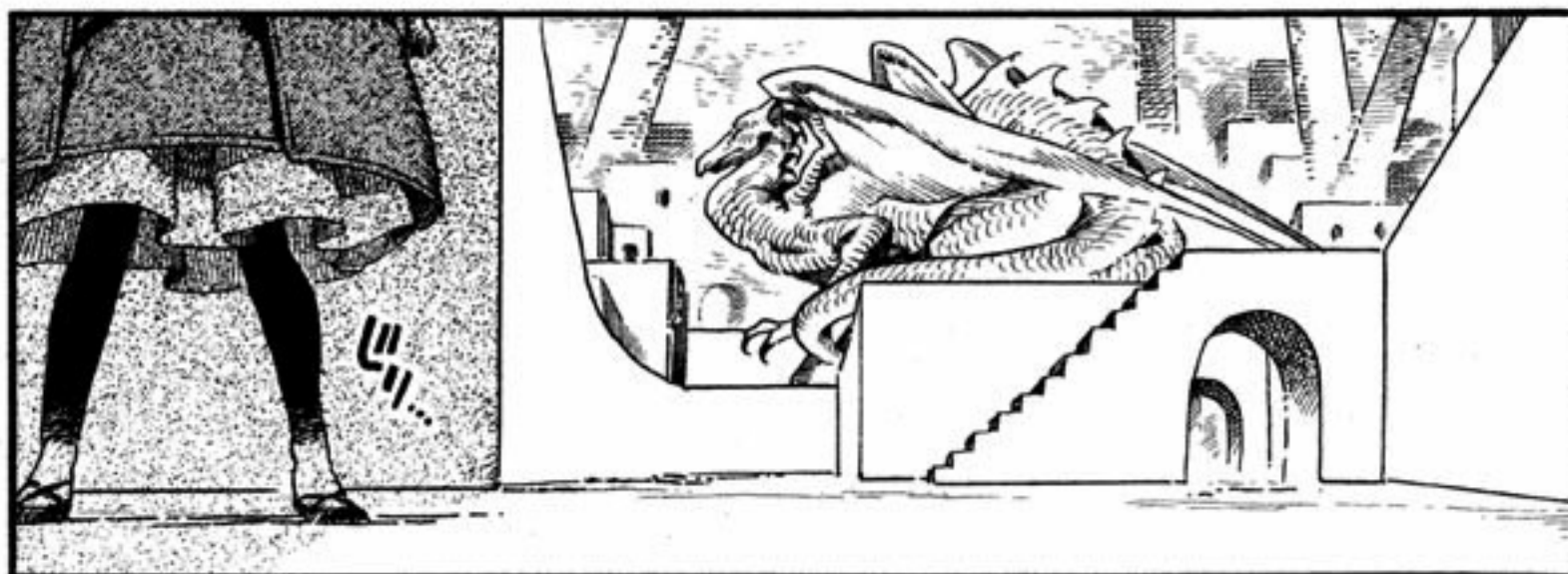
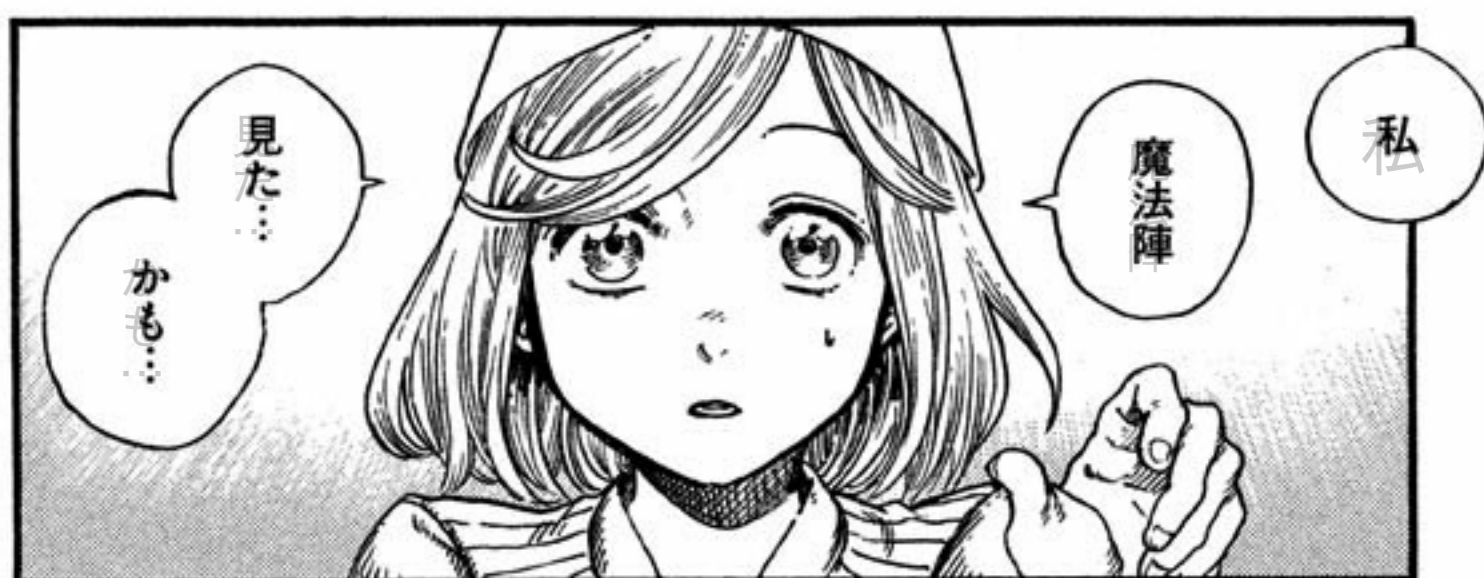


完成したら
共有魔法の
審査に出して

みんなが
使える魔法に
したいなあ









…本当
だわ

あの巨体の
後ろにある柱に
魔法陣らしき
ものが見える



くよーっ

くよーっ



あの巨鱗竜も
さっきの場所から
移動してないって
ことは

あの魔法陣を
護ってるの
かな？

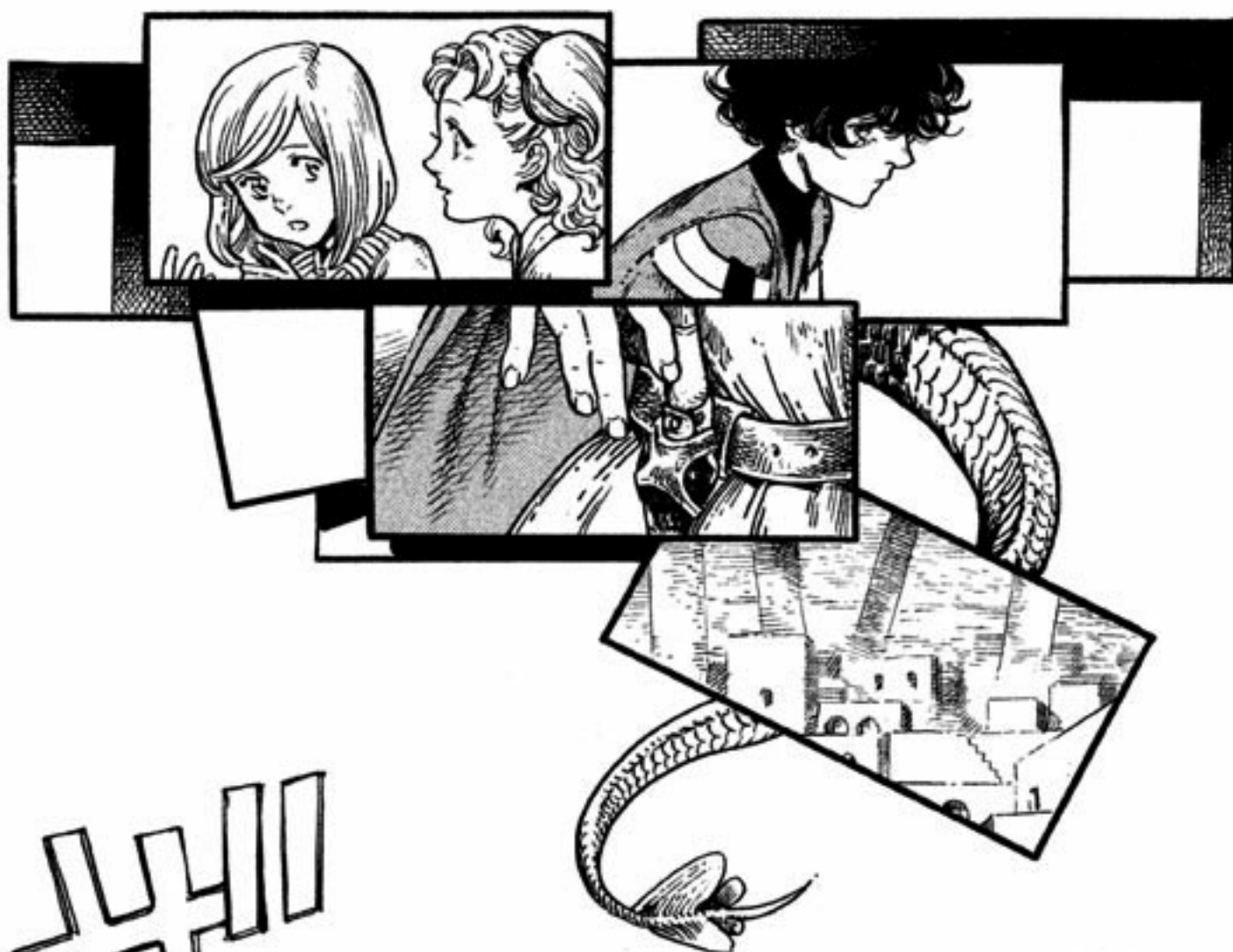
あそこから
エサが出てくる
のかも

私たち
みたいな
人間とか







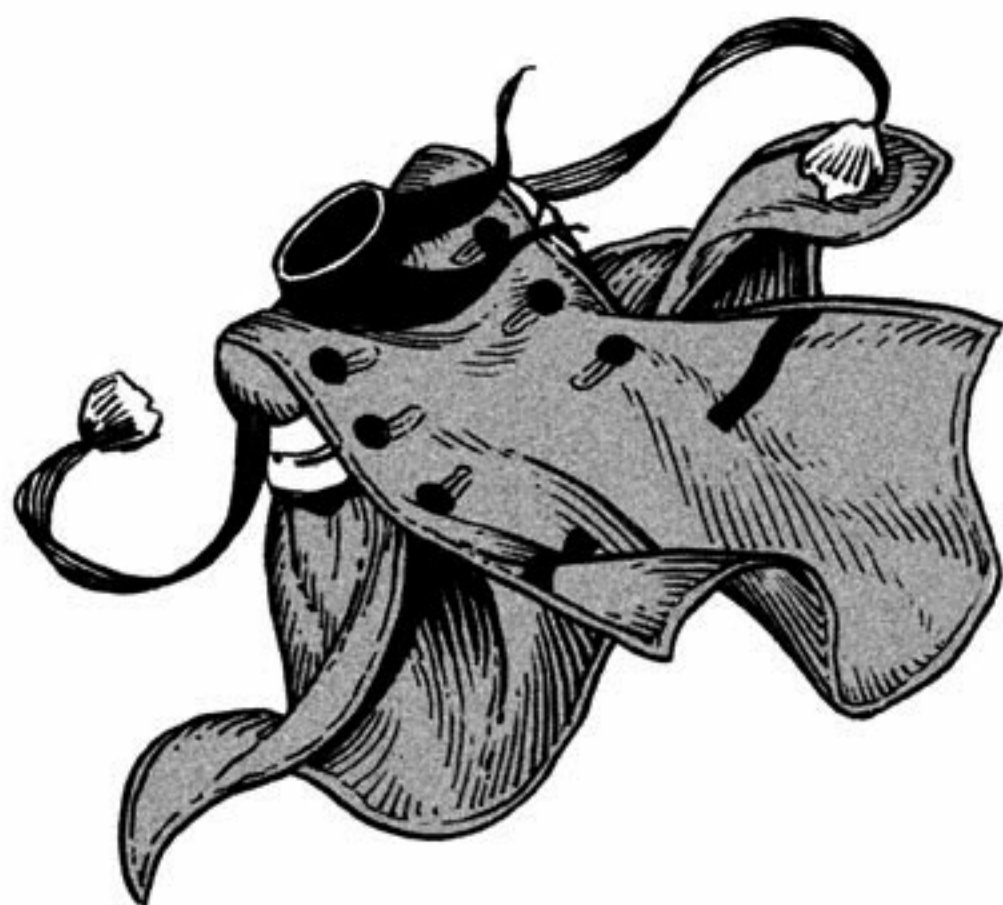


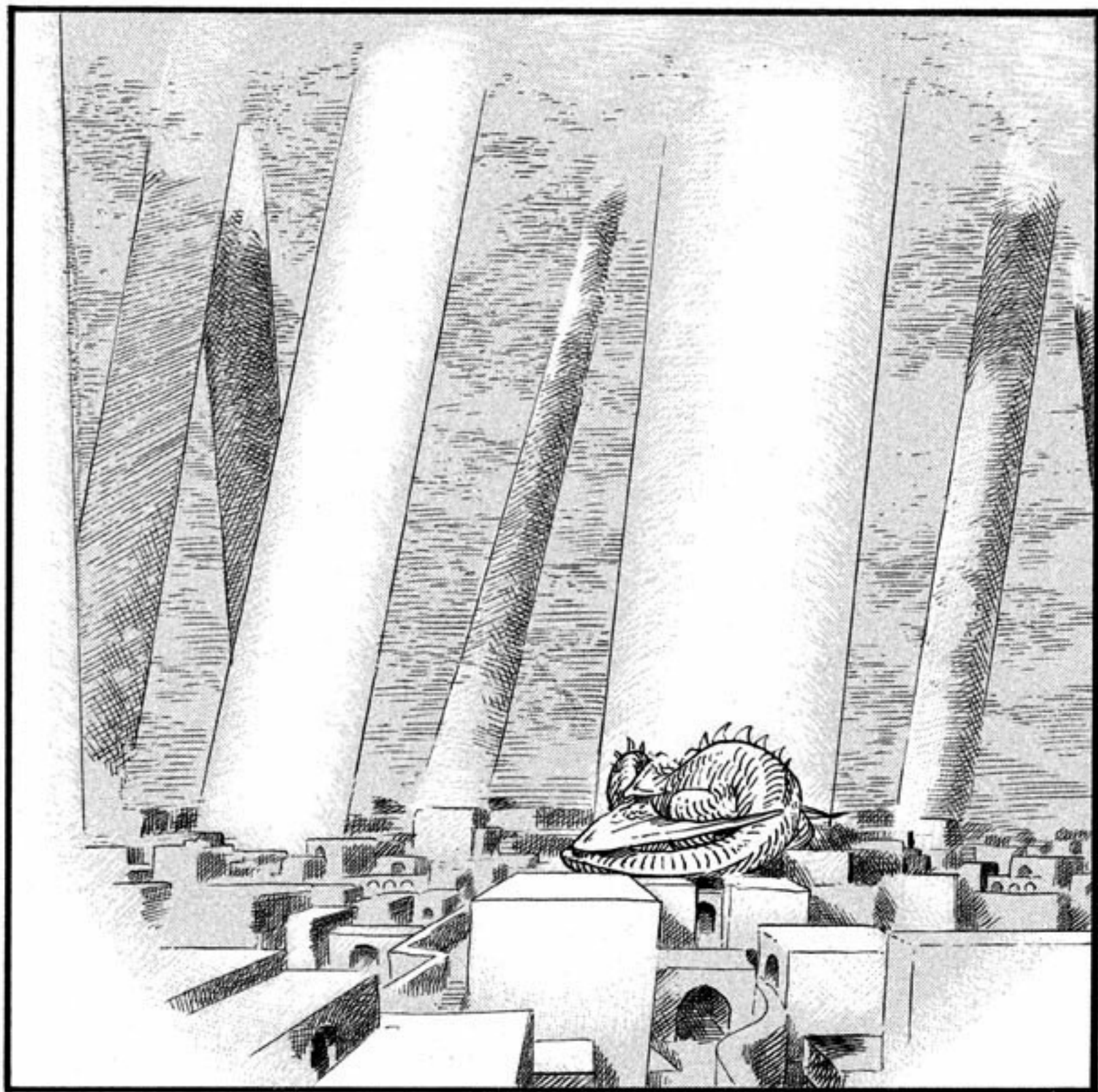


とんがり帽子のアトリエ

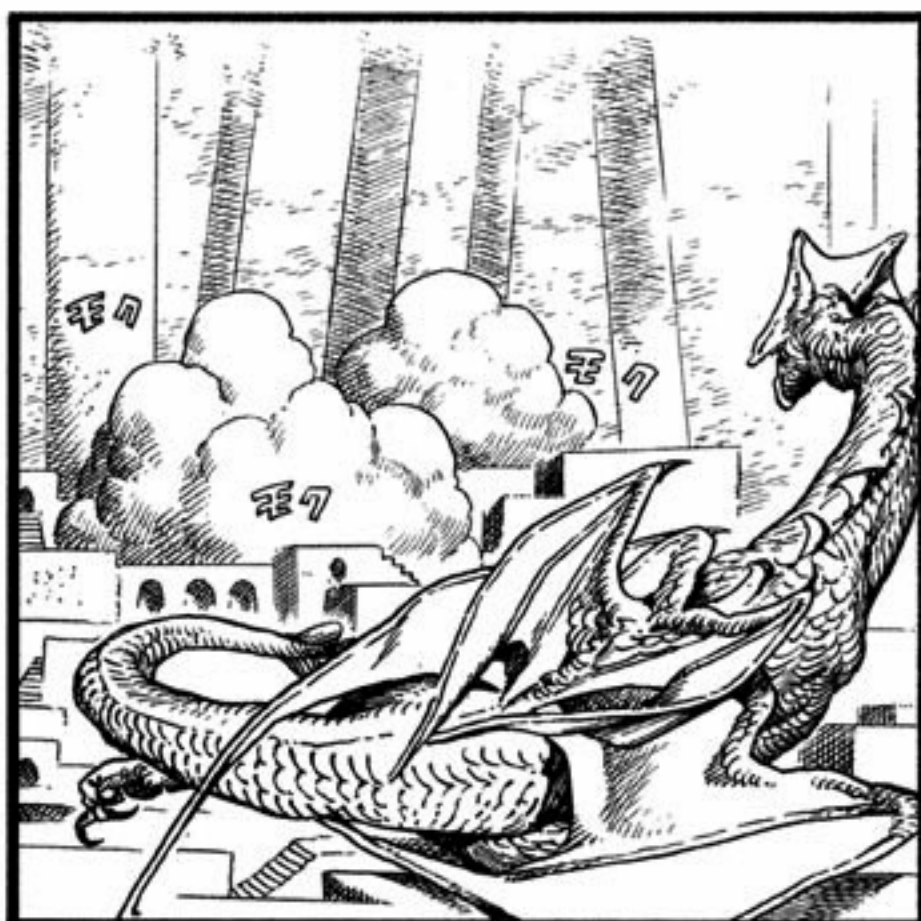


ATELIER OF WITCH n HAT











テティアの夢を
完成させるん
だよっ!!

そう!



つまりココの
作戦って
いうのは...



ここ
寒くて居心地
悪いけど

テティアの
雲の中は
あたたかくて
安心できた
でしょ?



だから
巨鱗竜にも
巨大な雲のお布団を
作ってあげたら

そこから
動きたくなくなって
そばを通っても
襲ってこなくなる
んじゃないかな





魔法は皆を
幸せにするための
ものだもん

上手くいけば
怪我しないで
すむから

私達も
あの
巨鱗竜も…



そうそう！
何かアイディアが
ありそうだった
よね

それに
アガットに手伝って
もらえたら
もっと完成度の高い
魔法になると思うん
だけだなあ



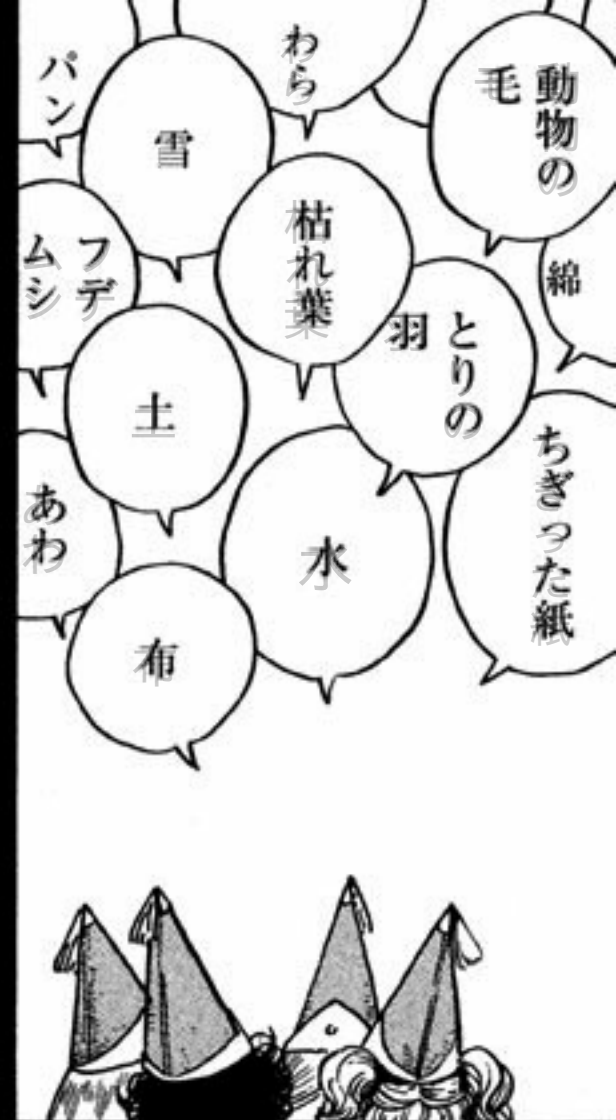
お願いだよ
協力して！

私たちの中で
一番描けるの
アガットだし！

そりゃ

ないわけじゃ
ないけど…









まるでどこにも
何を描けばいいか
見えているかのよう

私だけ
紙が真っ白に見える
魔法にかかっているんじや
ないかなって
くらい

滑らかで
しつかりしてて...

これが皆の
実力...!



あー

この魔法じゃ
無理だわ...

ハッ



.....

こんな
キレイな円...
どうやって
描くんだろう

ちよつと
のぞいて
みよ...







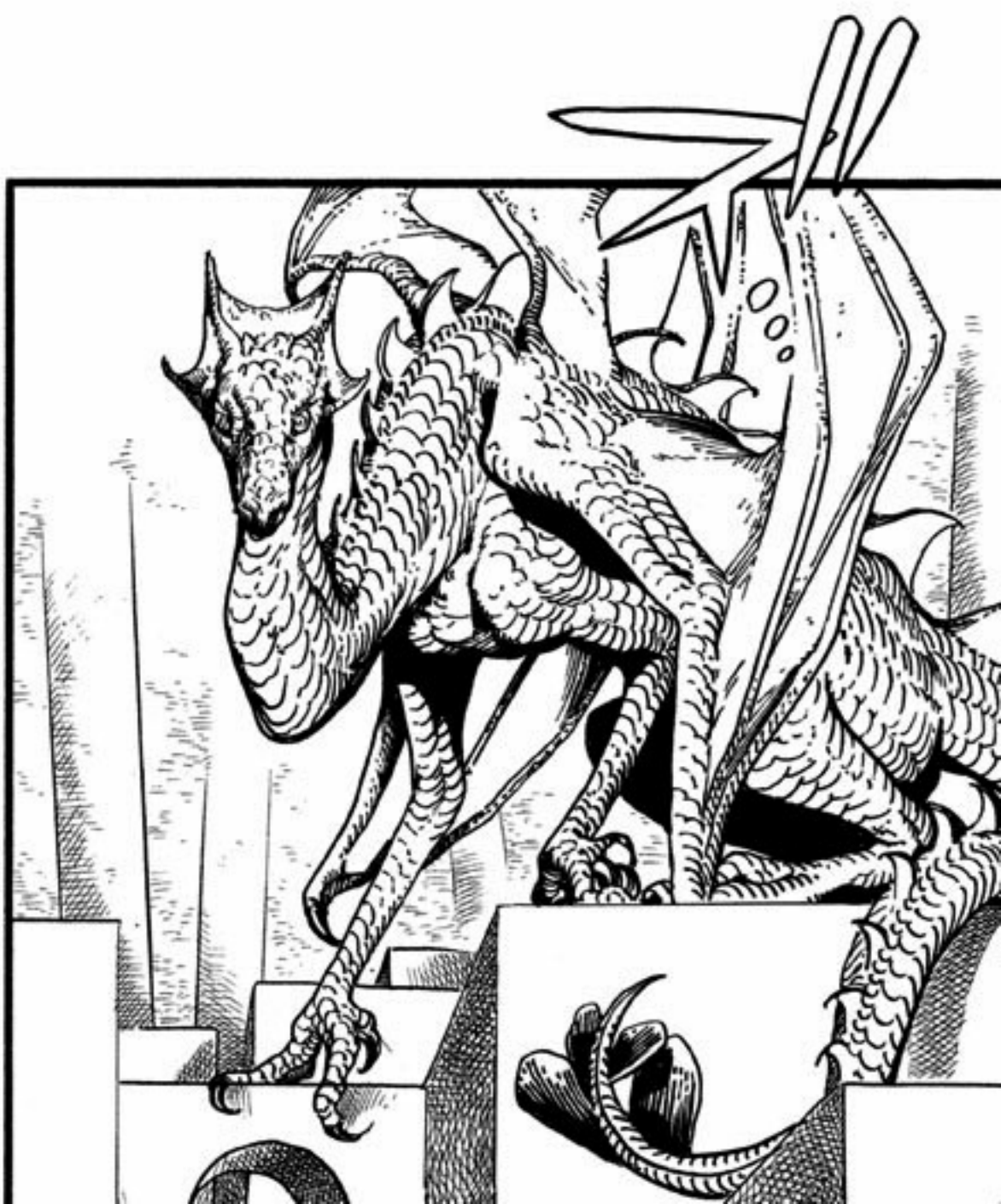




今練習
してたの！
皆が描いてる所
見ながら

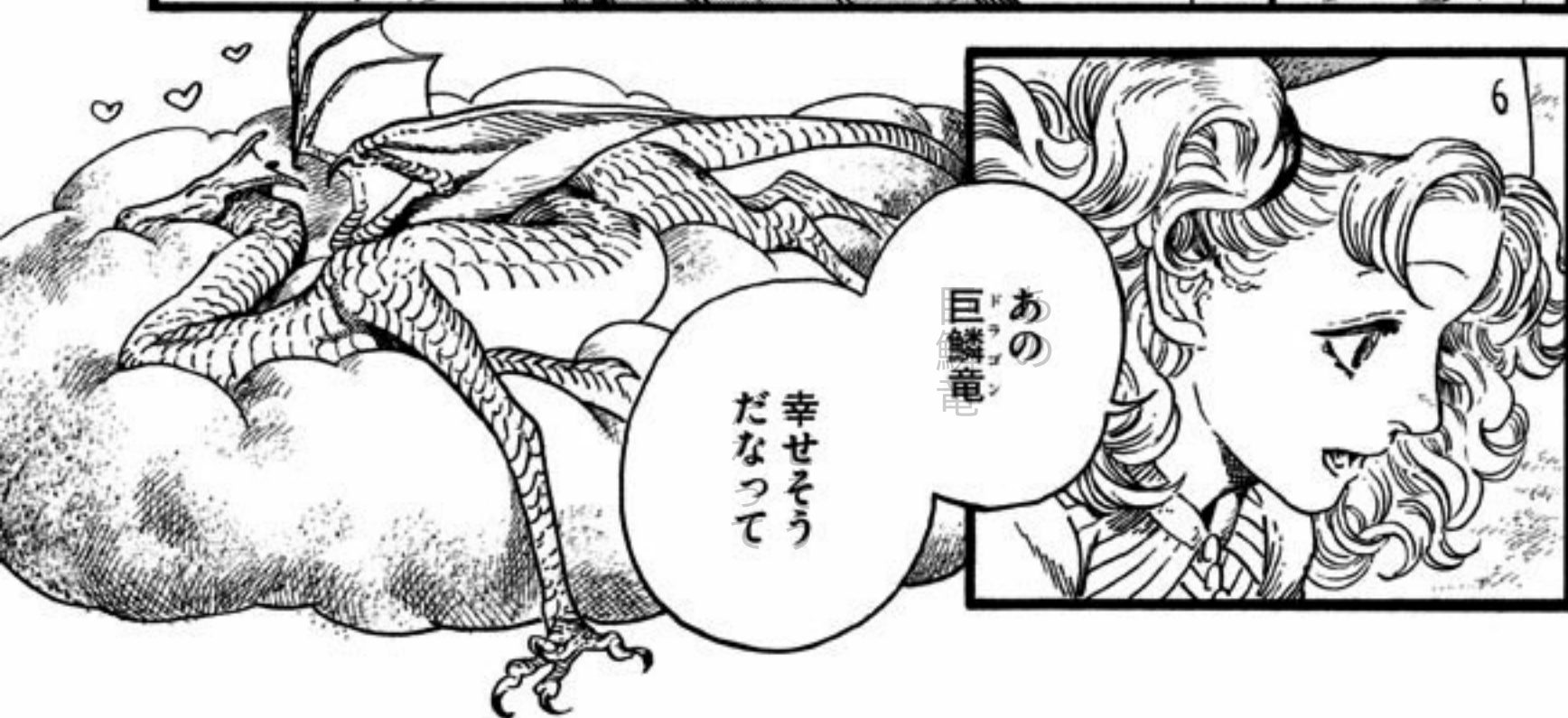
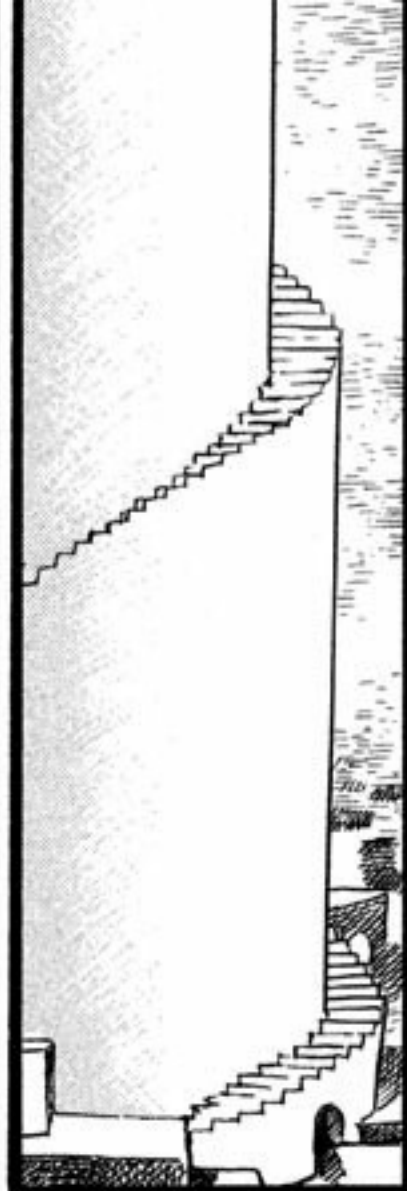
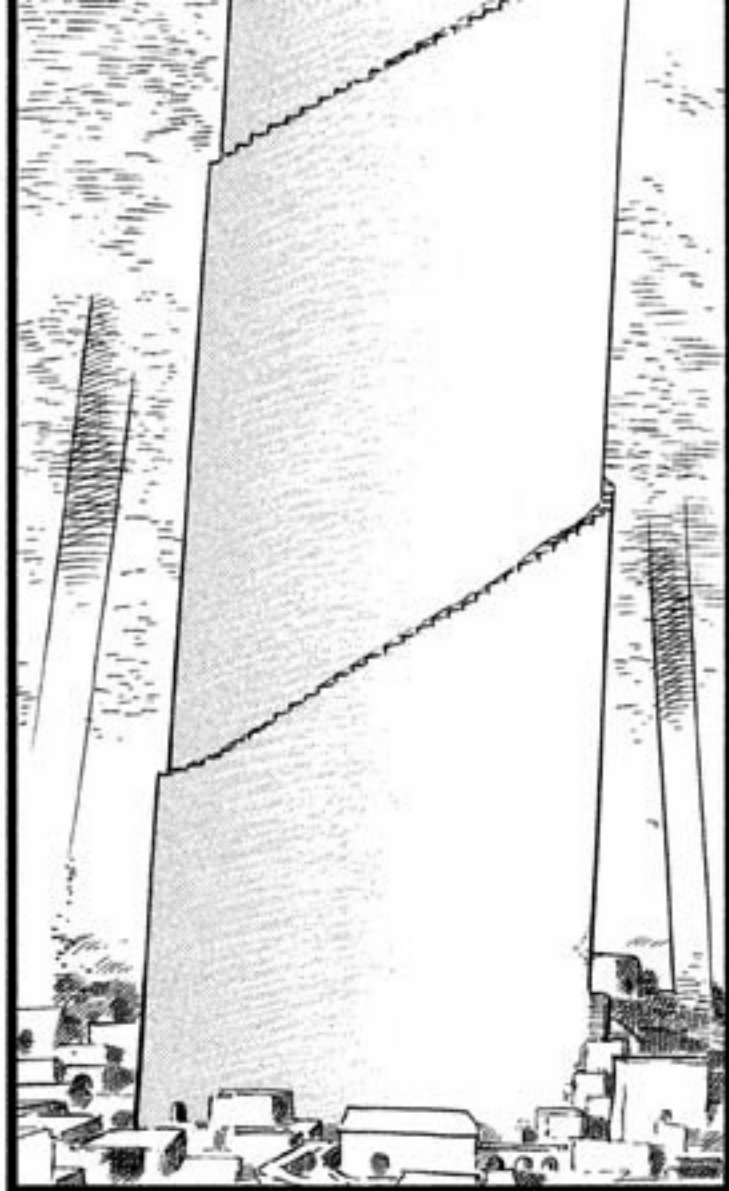
繰り返し
繰り返し
繰り返し...







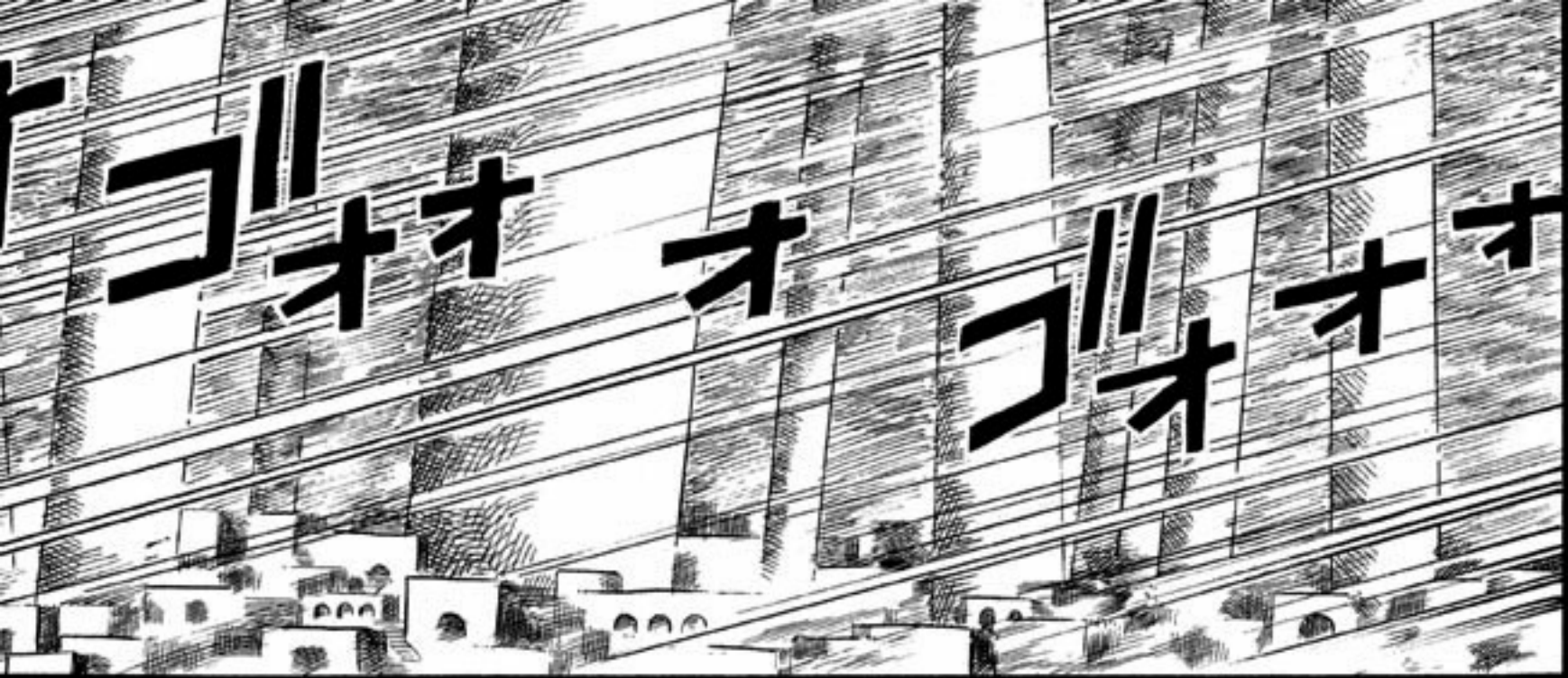














あ…
ふぁ…

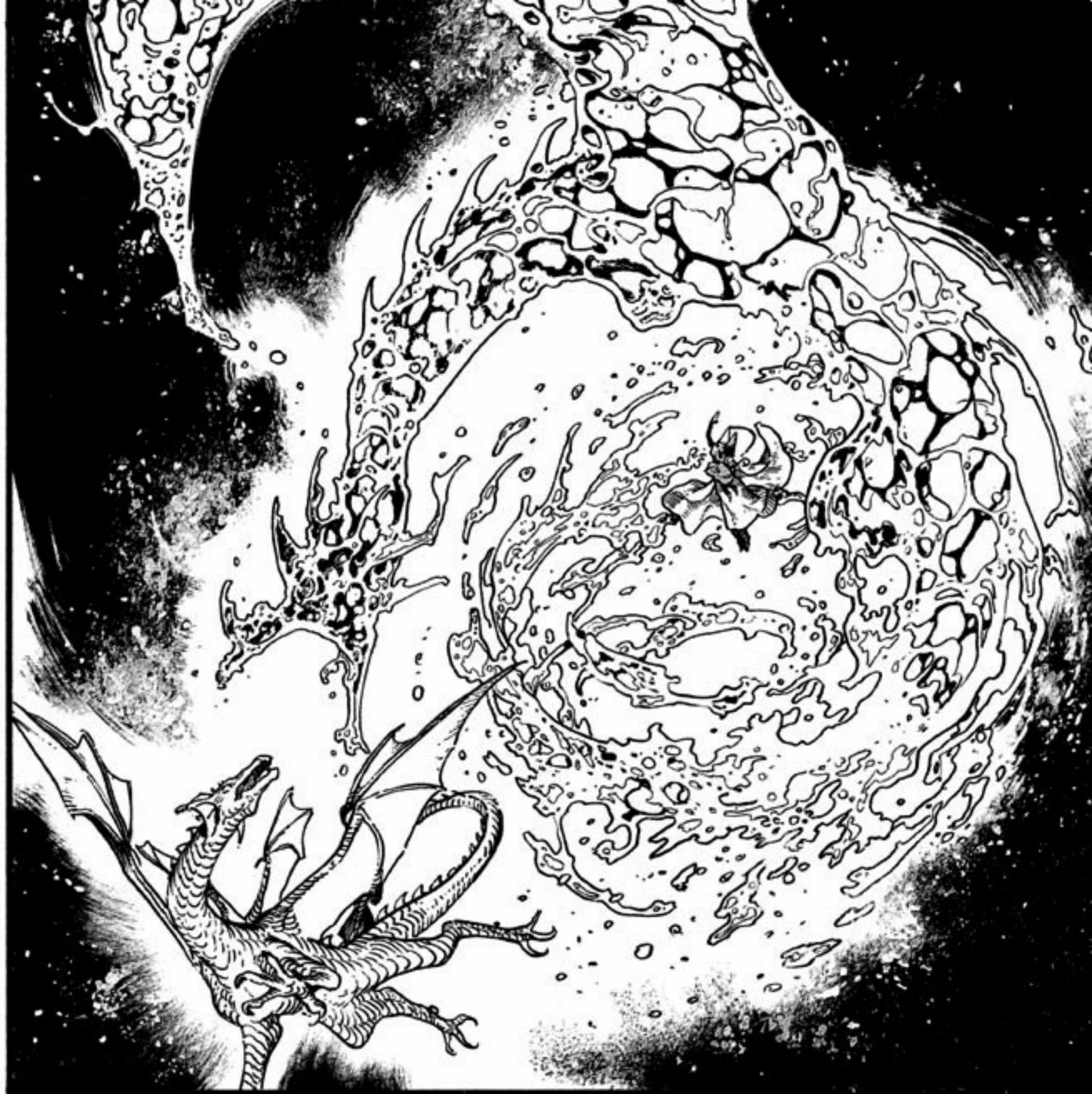


どうしよう
私今…

飛靴を
はいてない



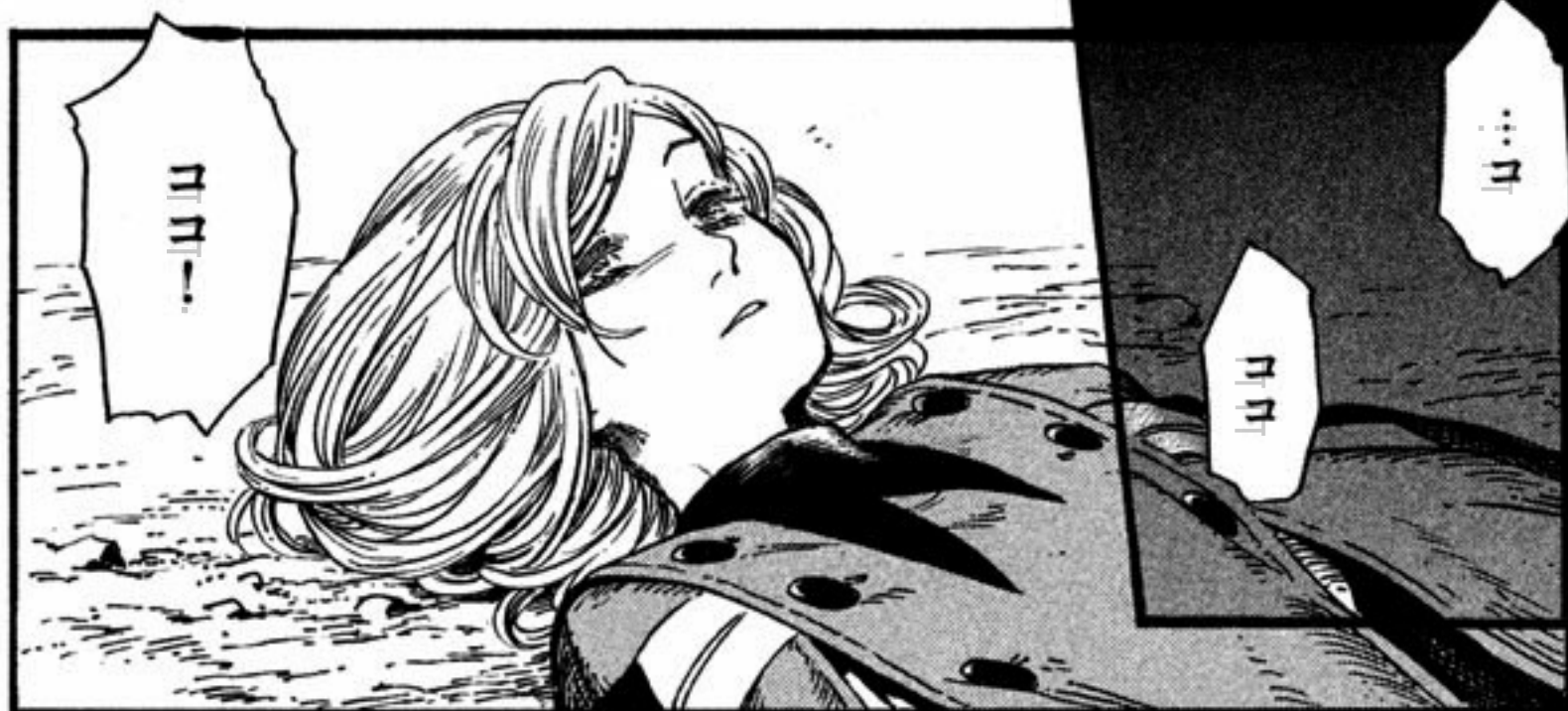














まさか
記憶が……？



忘れさせ
られたのかい!!

何を覚えてる？

「つばあり
帽」は
君に何を

わあ

大丈夫です

あやうと
ぼやうとしてた
だけで



ちゃんと
覚えてます

仮面の
魔法使い
とか

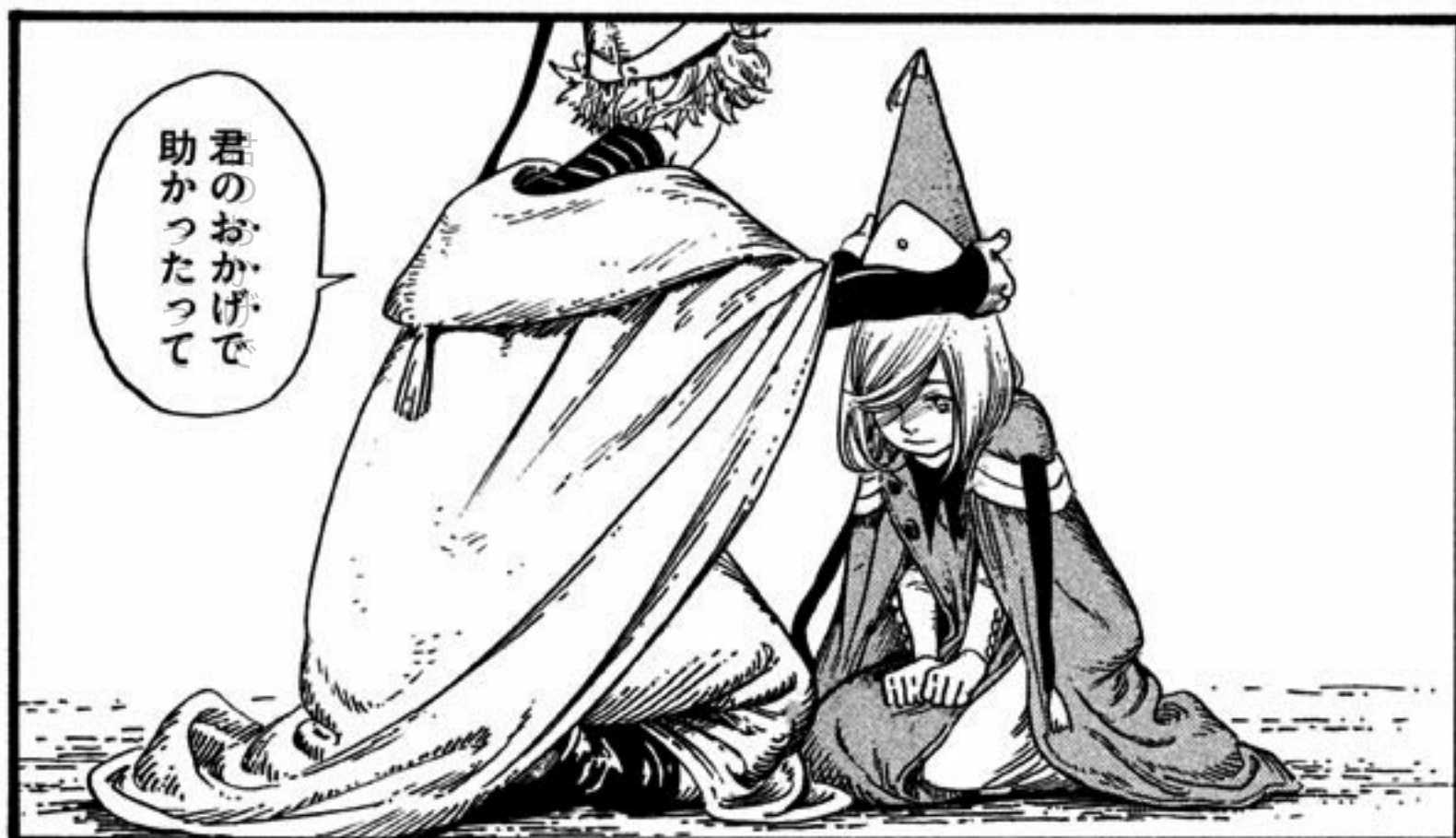
ドラゴン
巨鱗竜
とか……



ごめんなさい
先生

皆も

私のせいで
巻き込んで
じやって……!







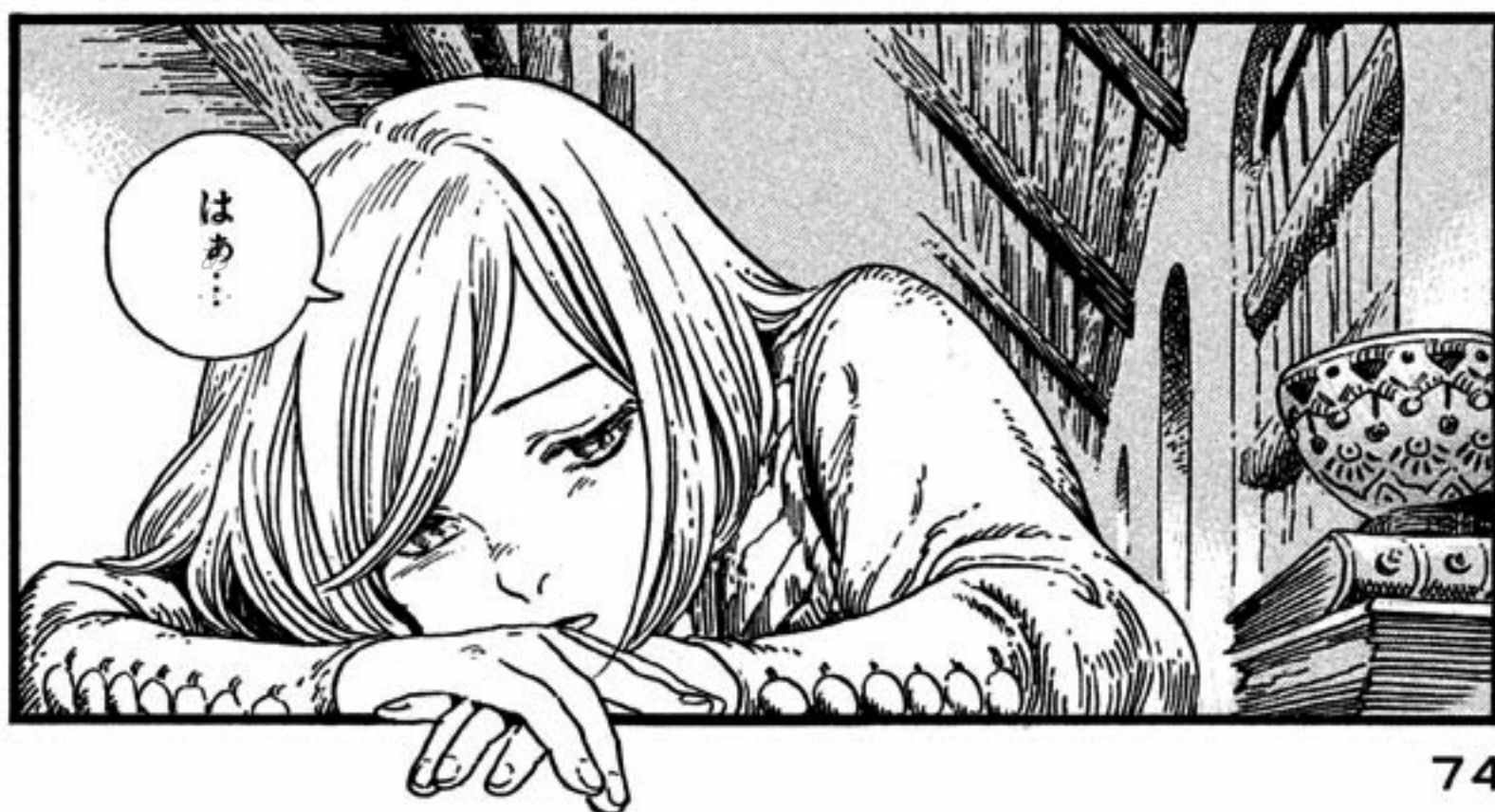
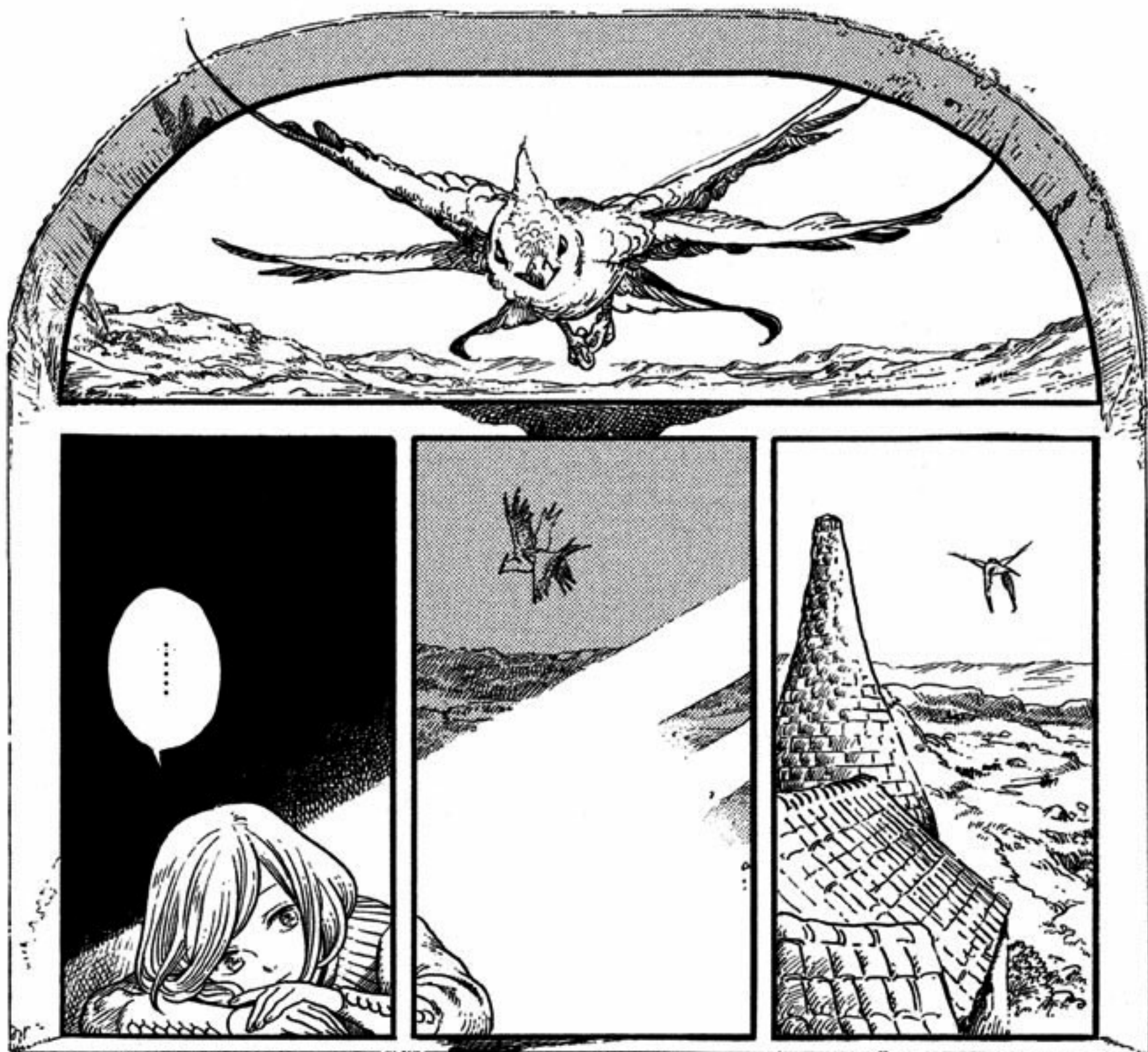
とんがり帽子のアトリエ

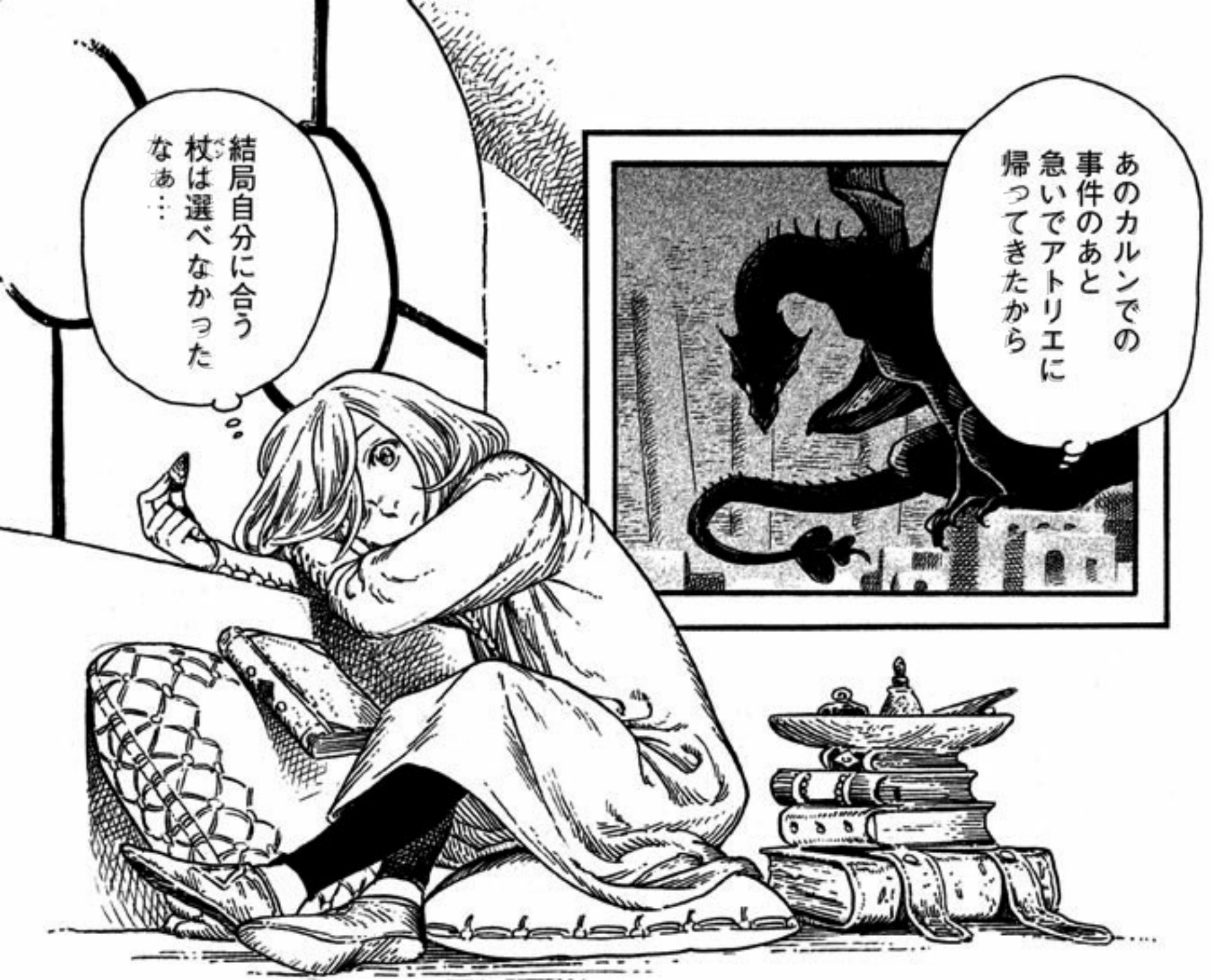


ATELIER OF WITCH n HAT



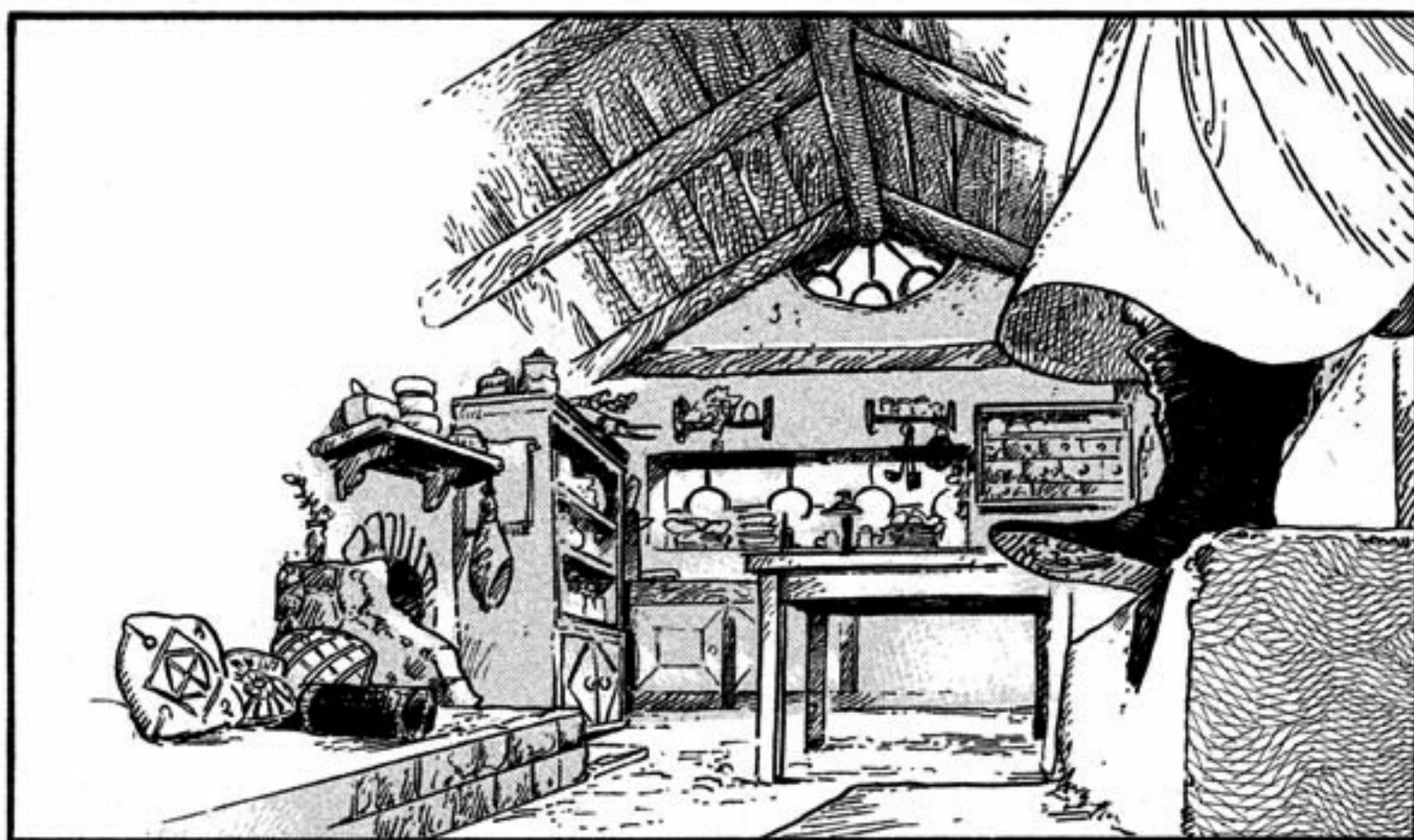








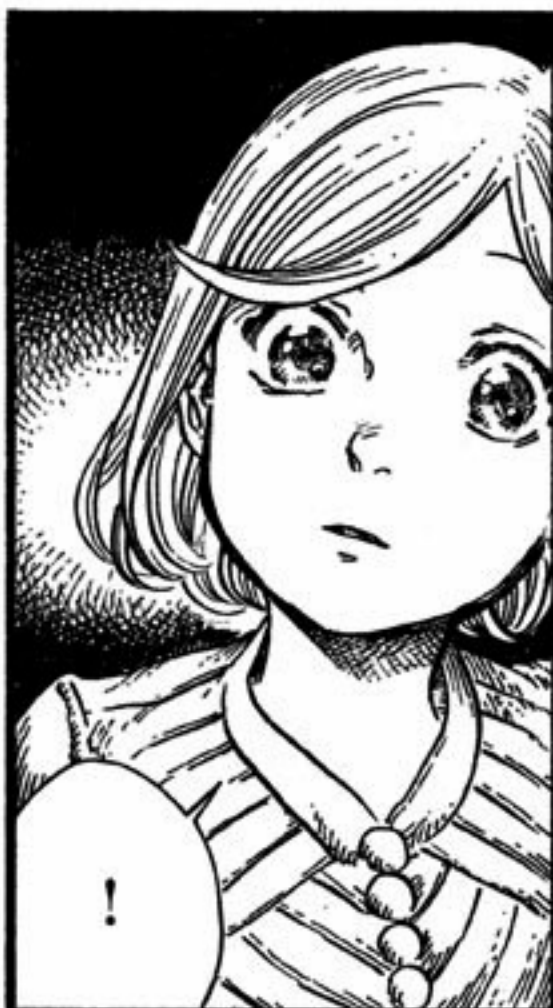




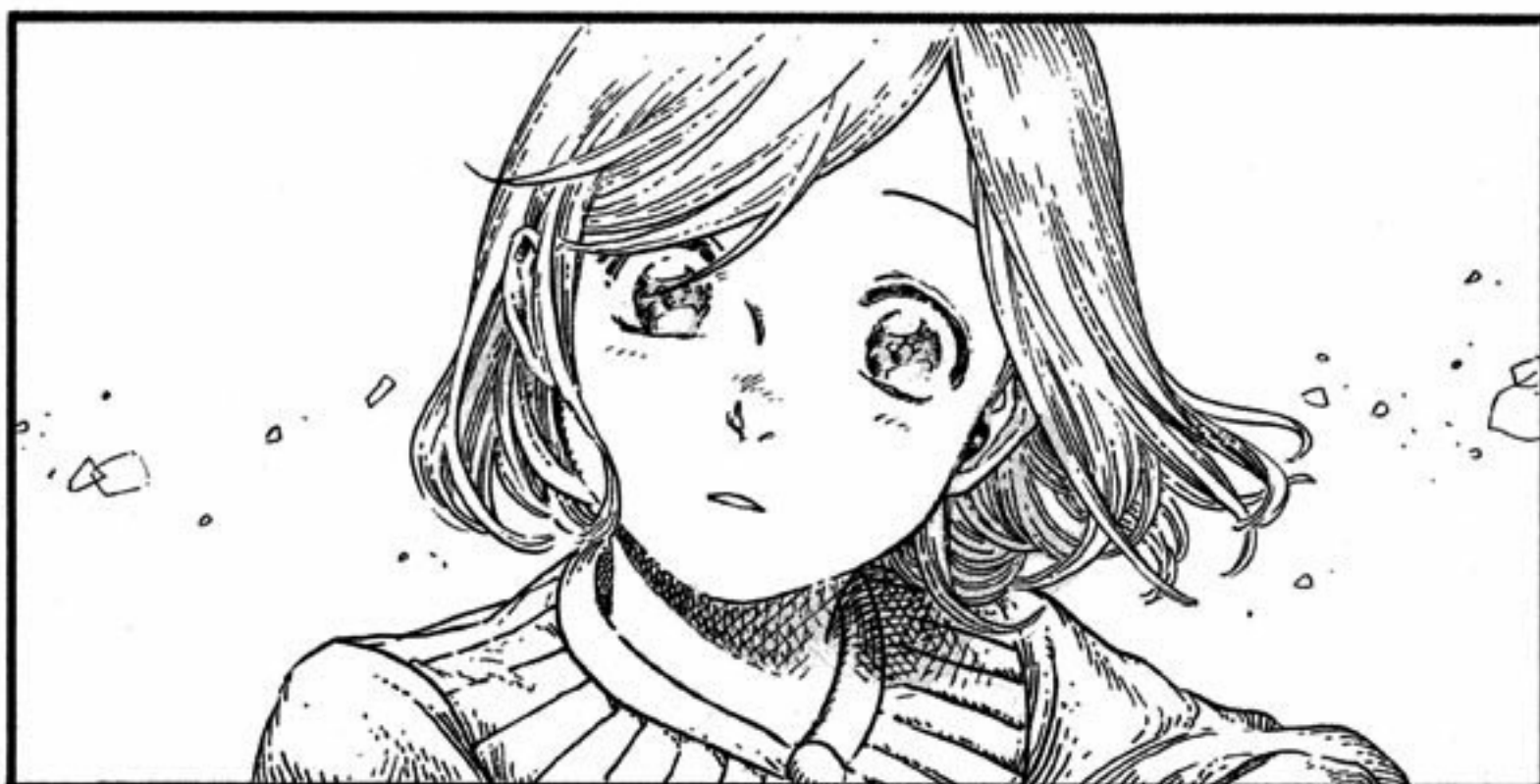
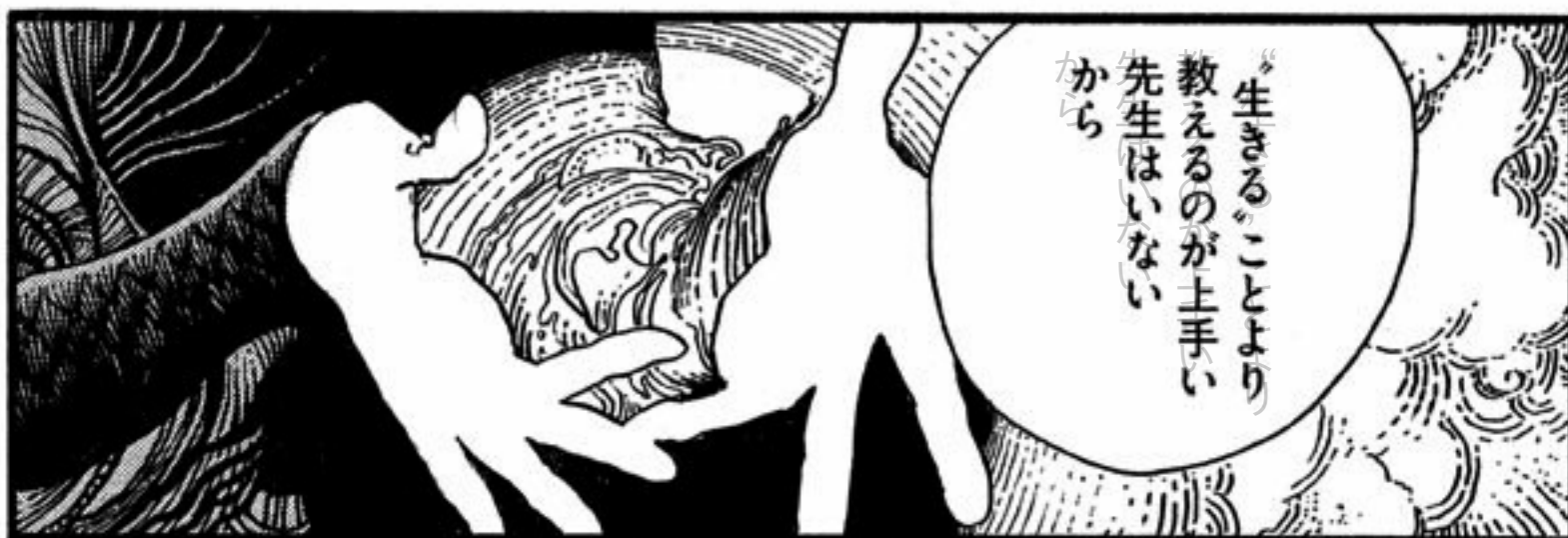


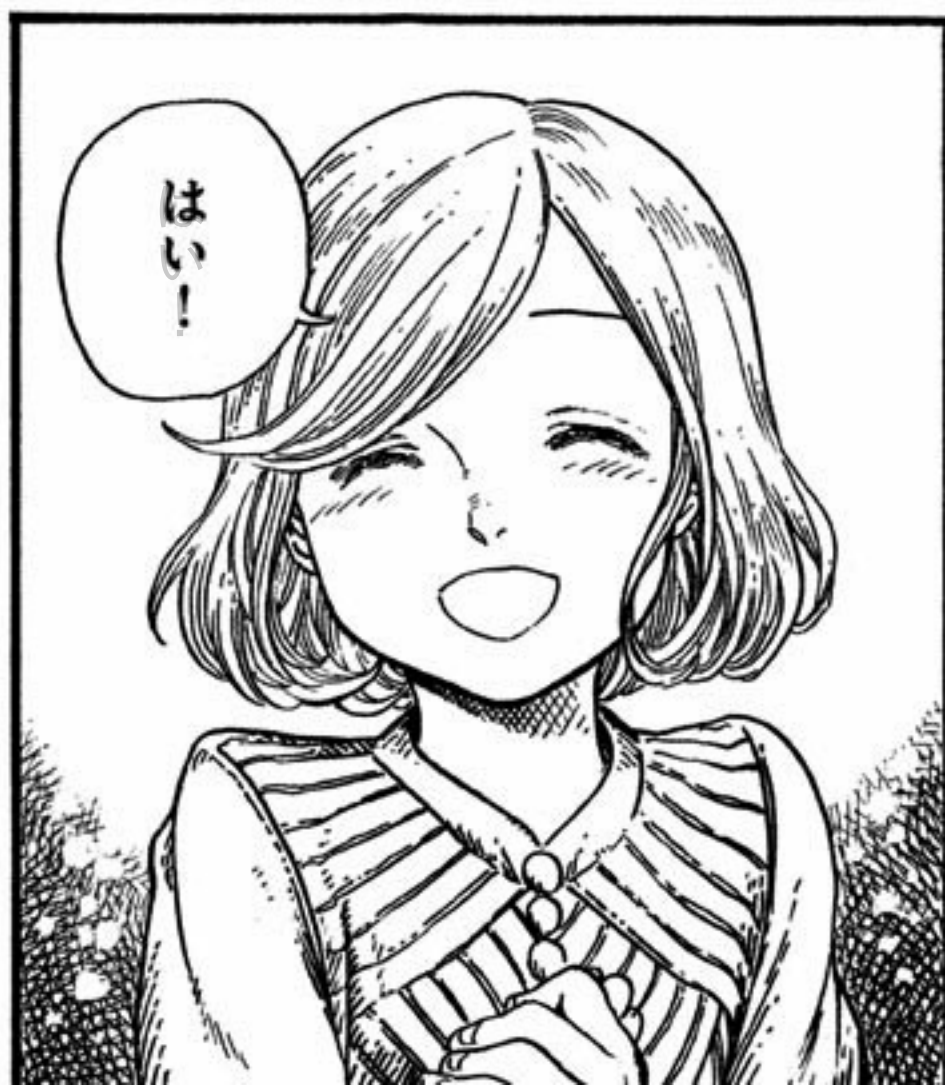
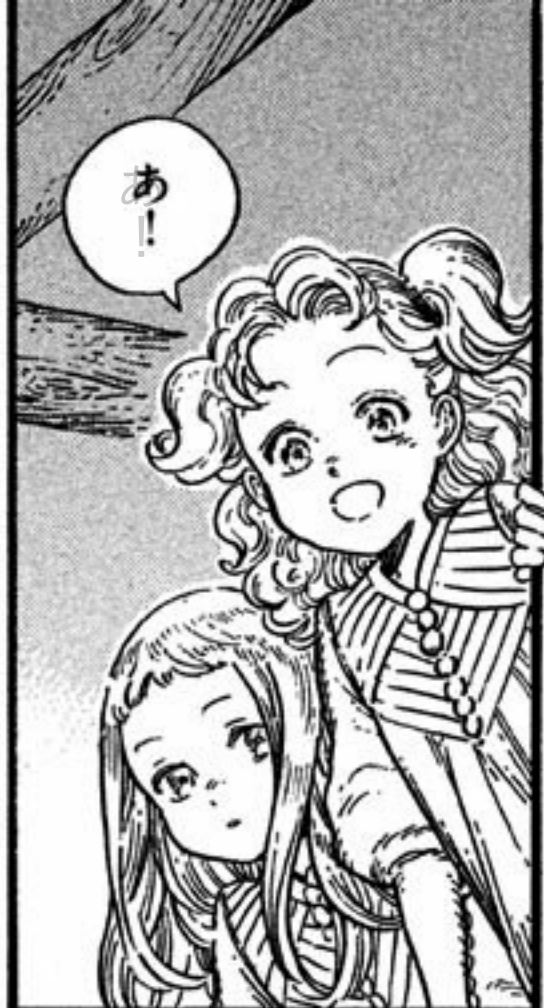


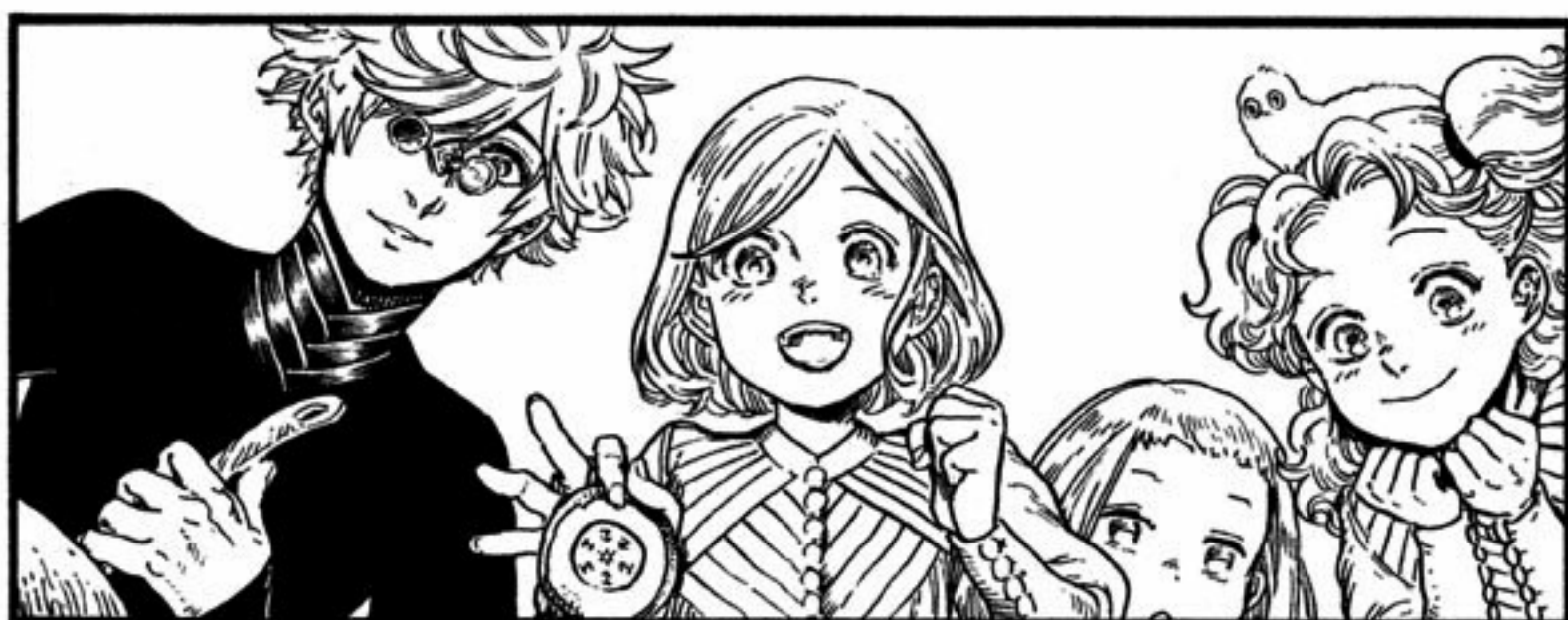






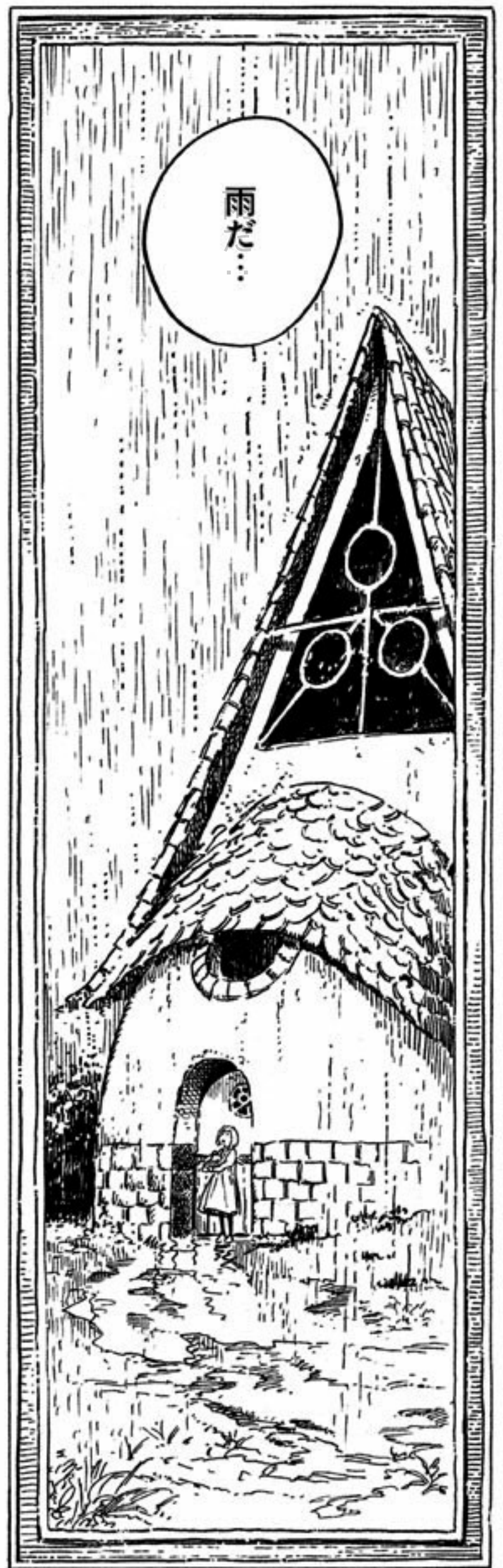


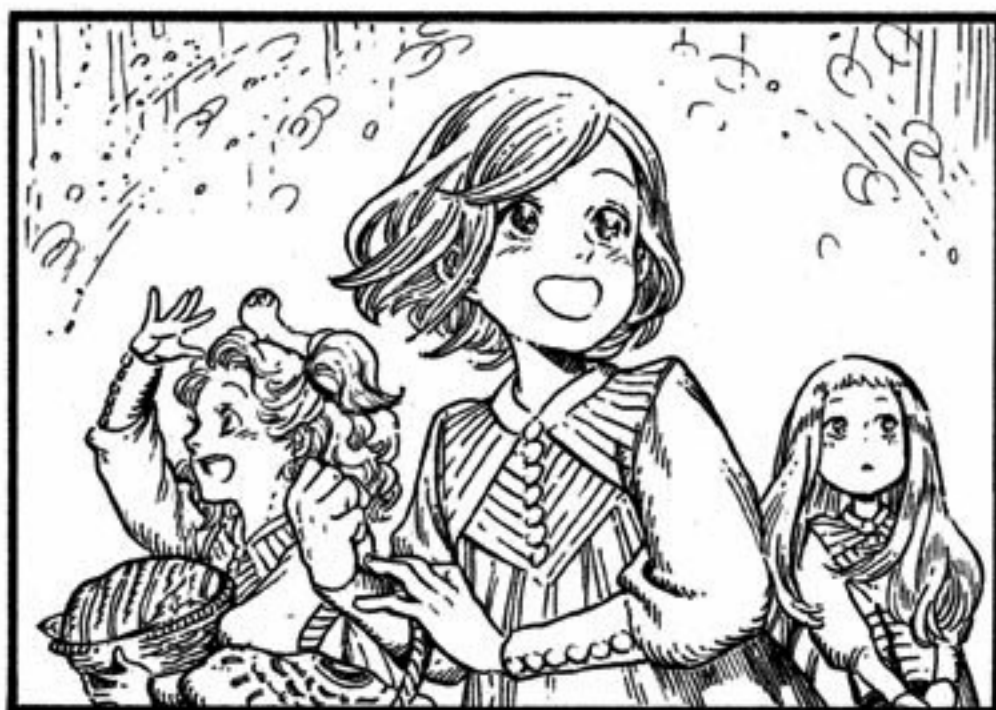


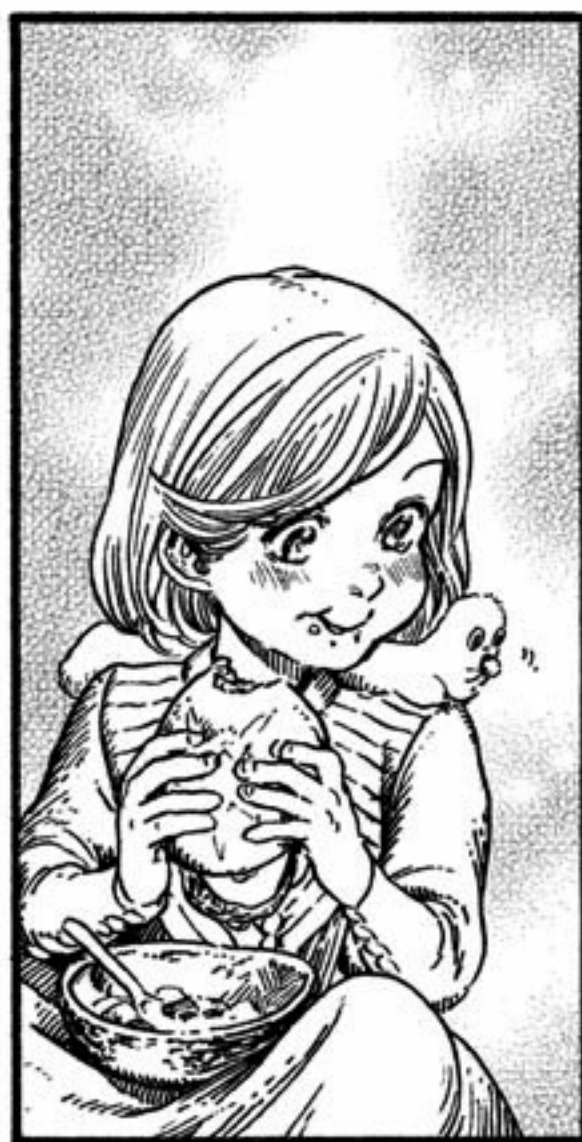


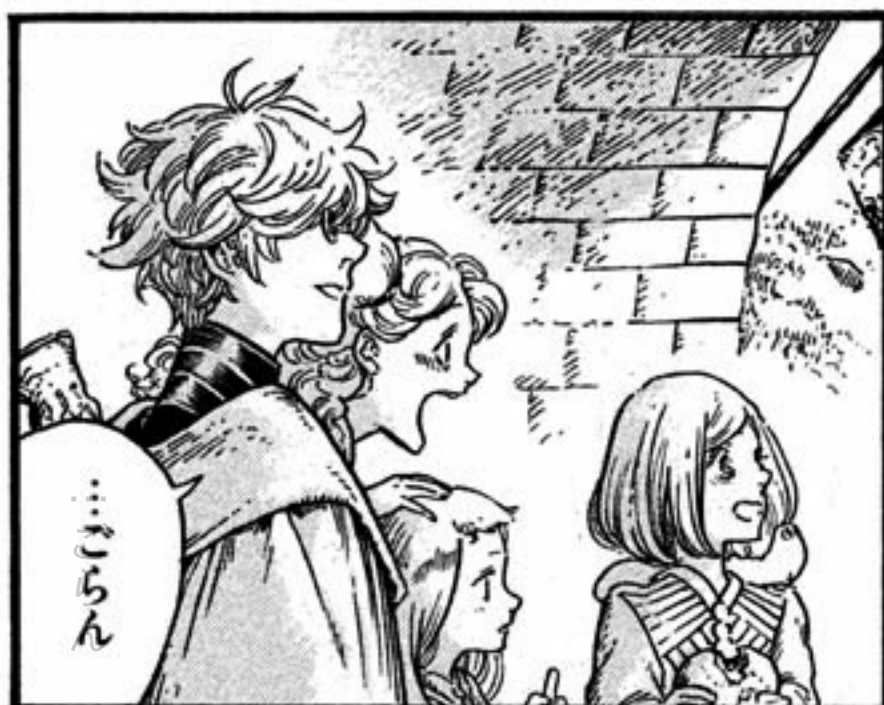


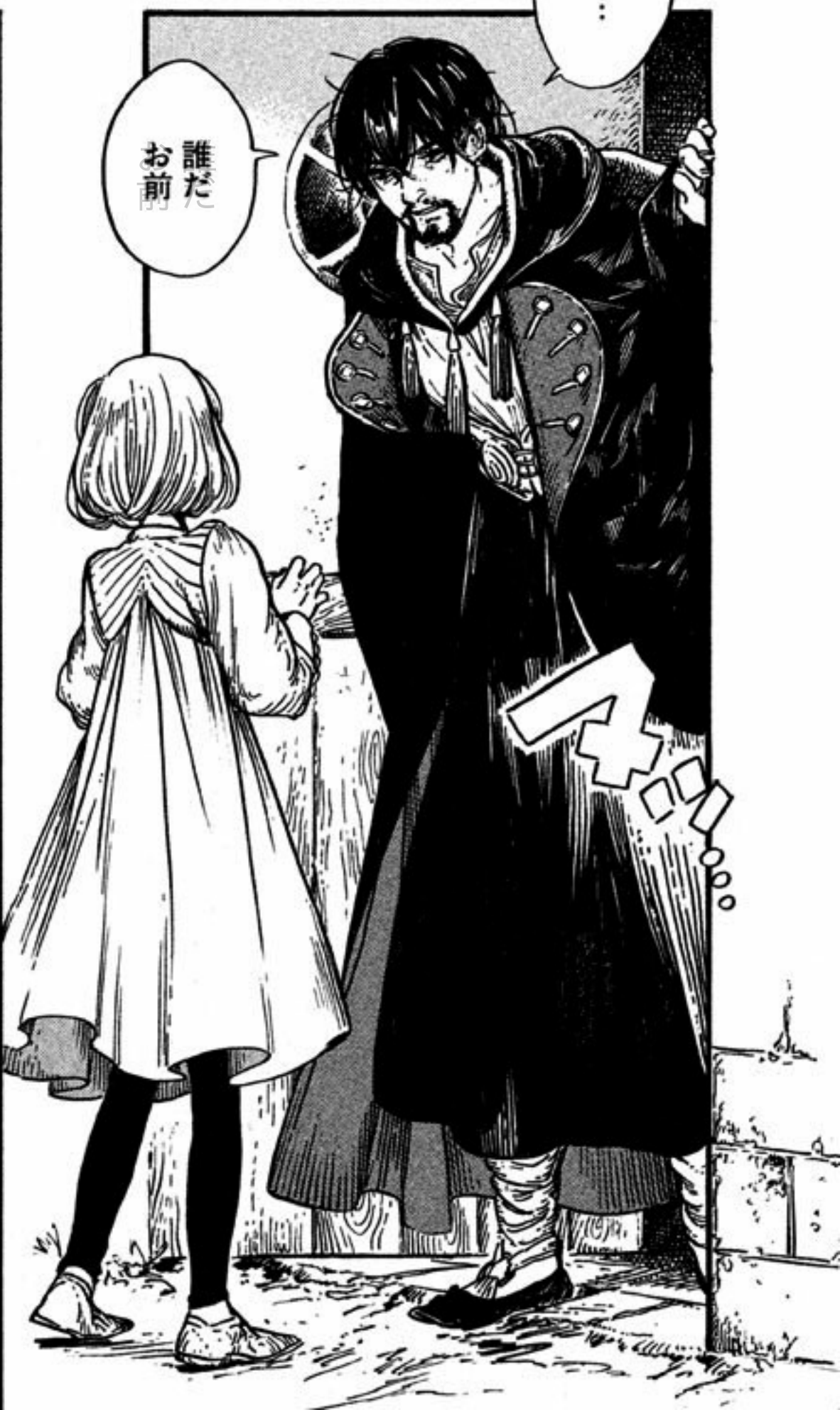
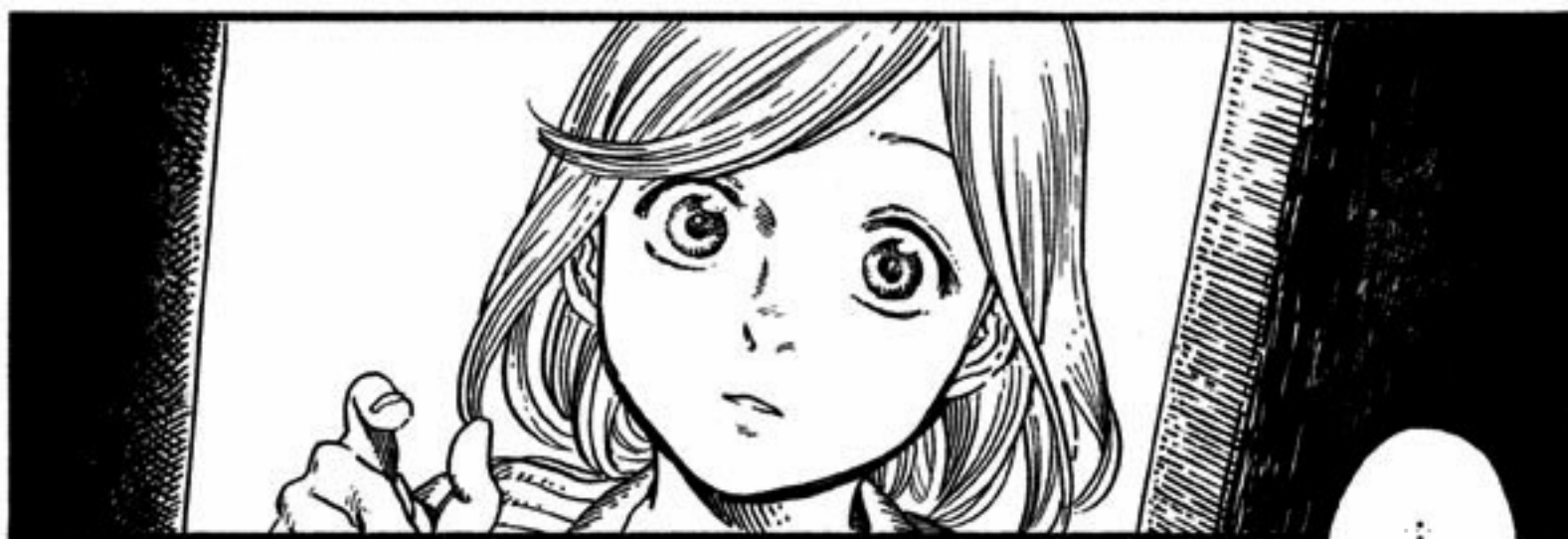


















とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT







魔警団に
引き渡す



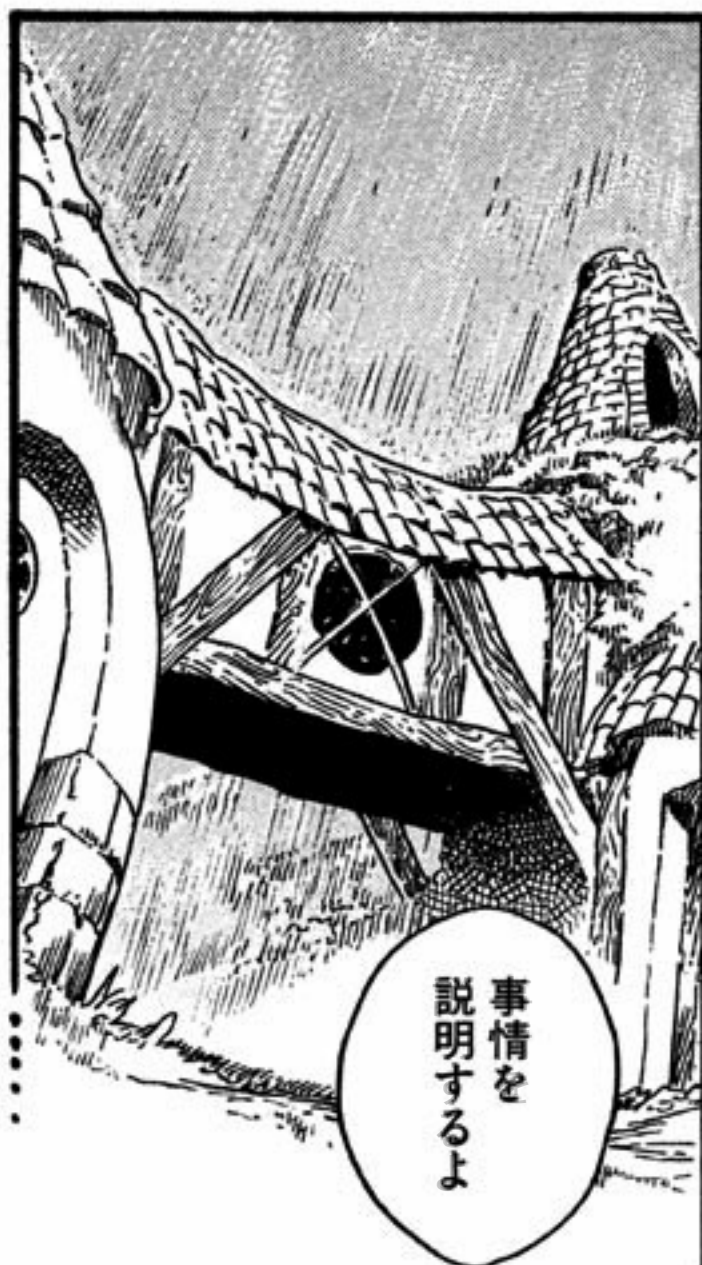




この子は一体
何なんだ…？



俺に魔法を
向けるほどかよ…

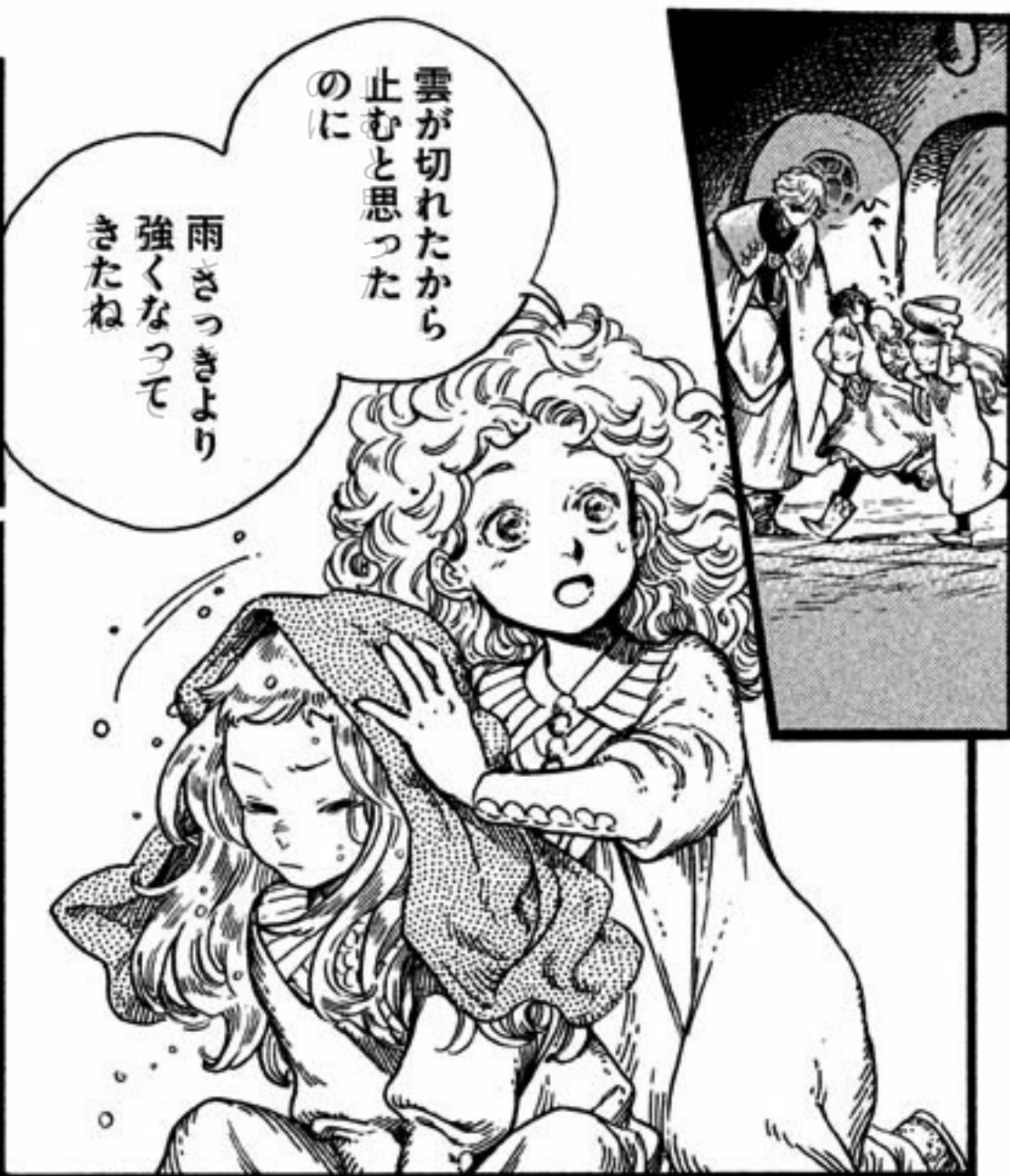


事情を
説明するよ



……
とりあえず

中へ
入ろう





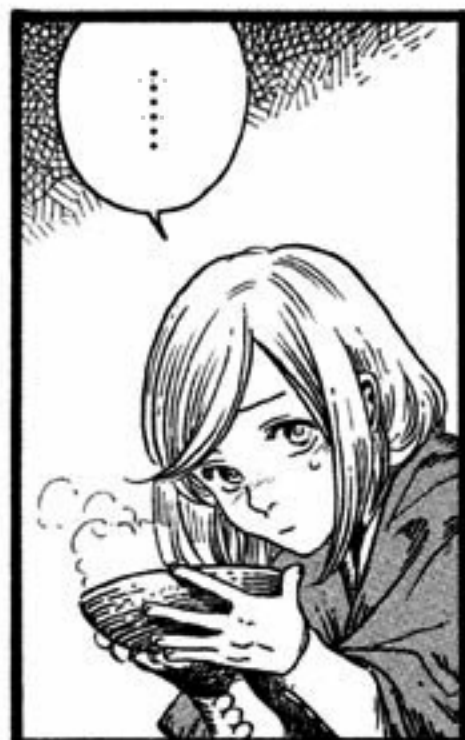




禁止魔法を
調べるのは
俺達の仕事じゃ
ないだろ
キィフリー



手がかり
だって？



それは
魔警団に
任せておけば
いいんだ



「魔警団」って
何だろう？

……って顔を
してるね



さつきから
言ってる




魔警騎士団…
通称「魔警団」

結託の日に
定められた掟に従い
禁止魔法に
手を出した者や

魔法の秘密に
触れた者の
記憶を消し去る

「魔法を守る。
魔法使い」達
なんだけど…

彼らは
規則で動き
情を持たず
例外を許さない



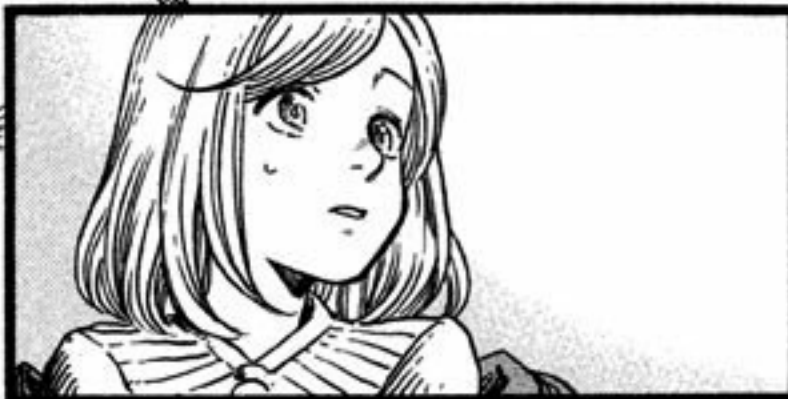
あんな人達に
預けたら

魔法への
憧れの気持ち
まで消されて
しまうよ…









キーフリト
先生…

大丈夫
気にしないで
いいよ

オルトギオは
魔法器制作の
締め切りに
追われてて

家の中で
音信不通に
なってるよ
ナム子よ

めったに橋向こうの
自分のアトリエから
出てこないし

家の中で

ココは
自分の魔法で
試験に合格して
正式な弟子に
なったんだから

堂々と
していい
んだ

さ…
体が冷えて
しまう

風邪を引く前に
湯浴みをして
おいで

はい

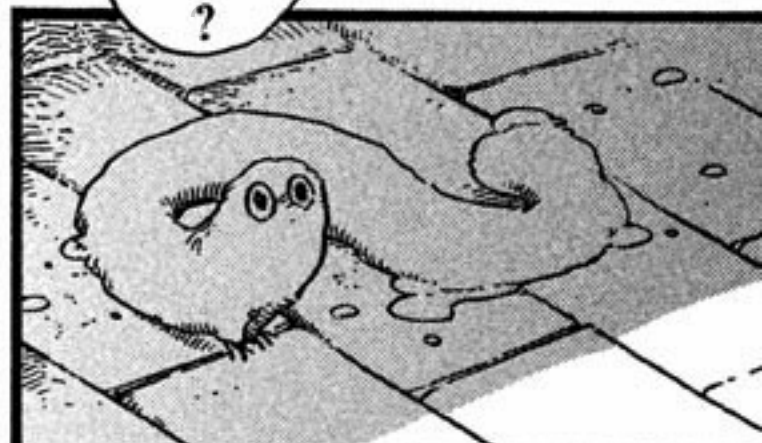


フデムシ
お風呂
行こう

フデムシ?

わっ
びちよびちよ
だあ!

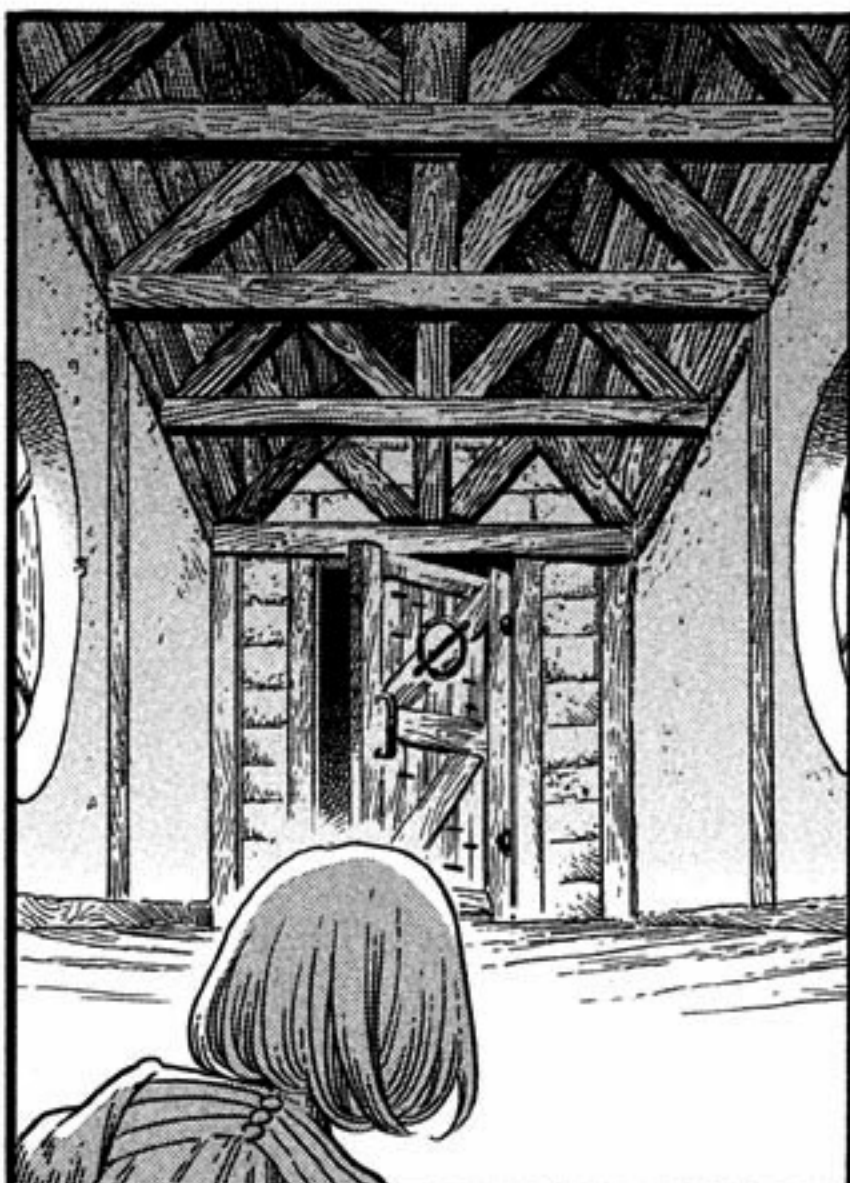
あつこら
だめ!

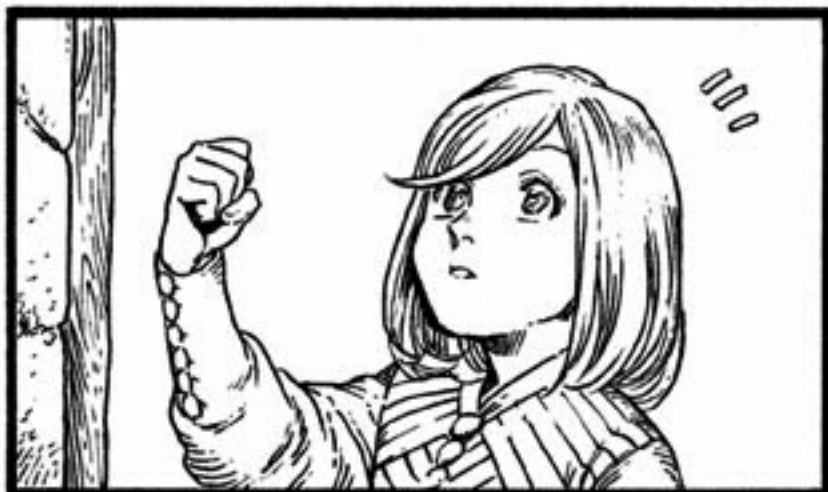


ズル
ロロ

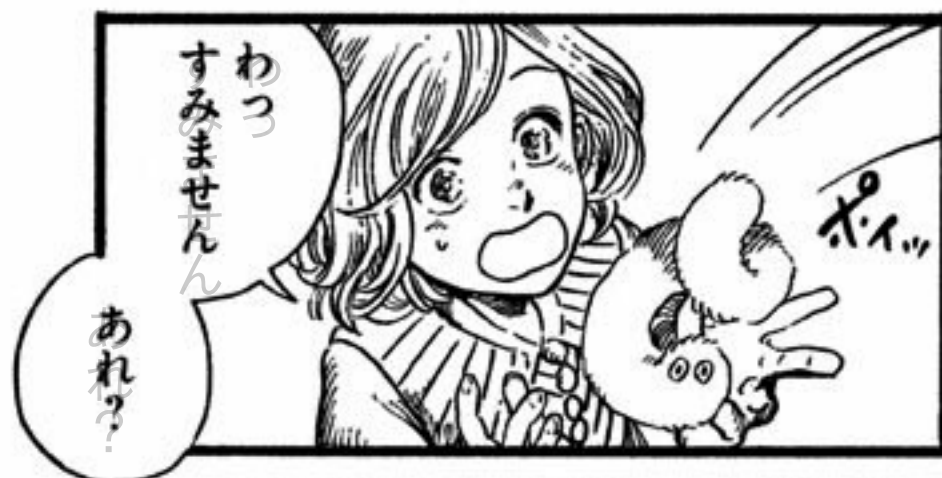
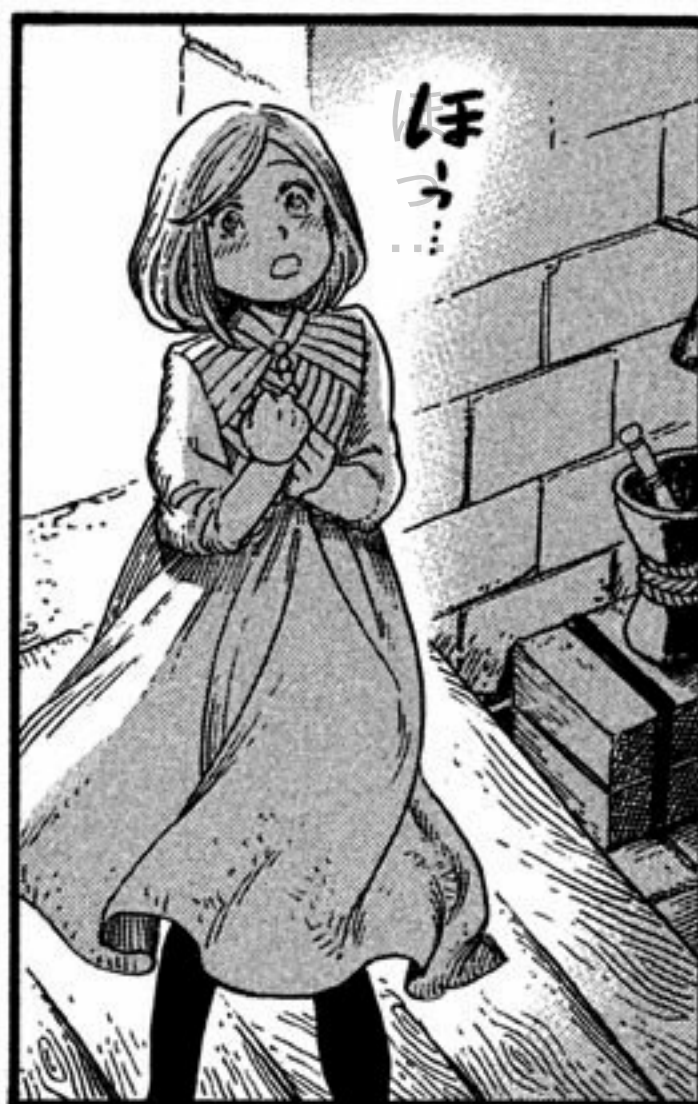
あああ
入っちゃったああ

うわー
なにぞ
ナニカ666
ホニニ666
ホニニ666















私が
最初に

魔法を
好きになった
魔法

これなん
です

踏むと光る
石畳……!



石が二重に
なつてて
重みで魔紋と
陣が重なる



…灯石道は
俺の代表作だ



単純な魔法だ
こんなもん
どこにでも…

うわ
何してんだ
お前!

光ってる…

そりゃあ
そういう魔法
だからな!?

私にとって
この光は
特別なんです

私が歩くと
石も光って

まるで
魔法の力が
宿ったみたいで

ただ
一歩一歩

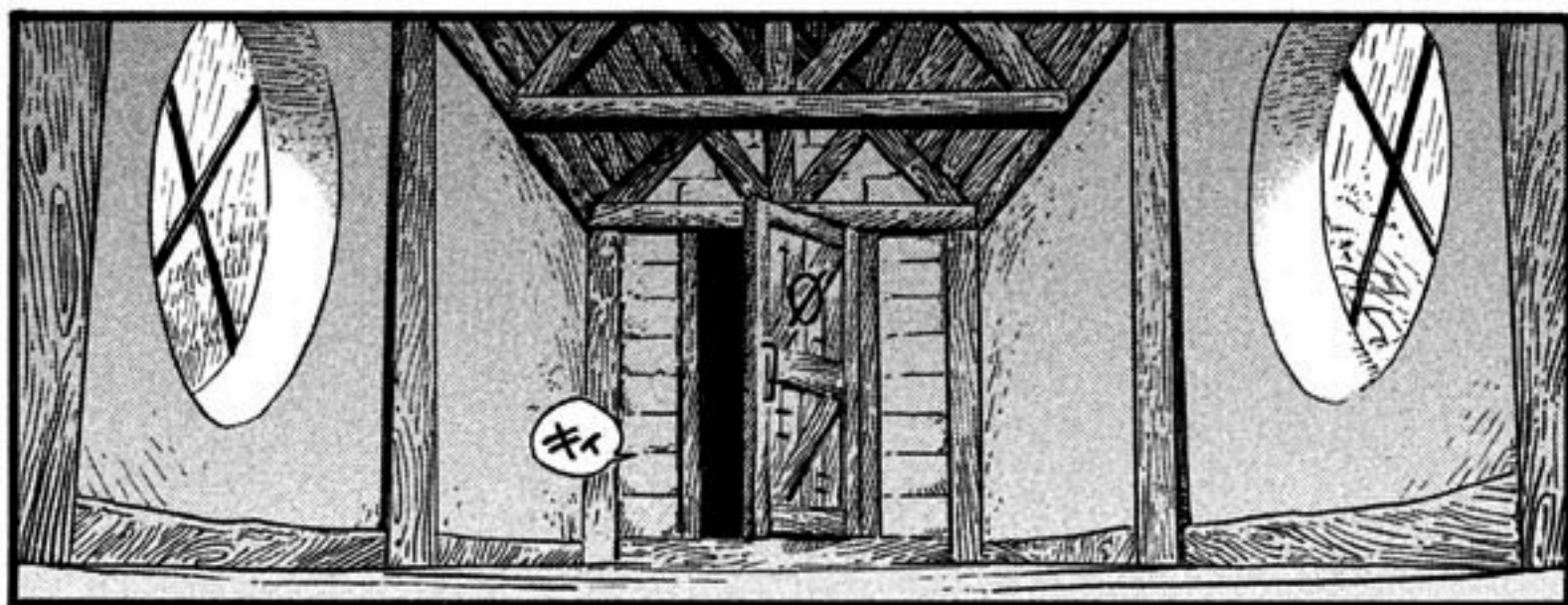
足を
踏み出すのが
楽しかった

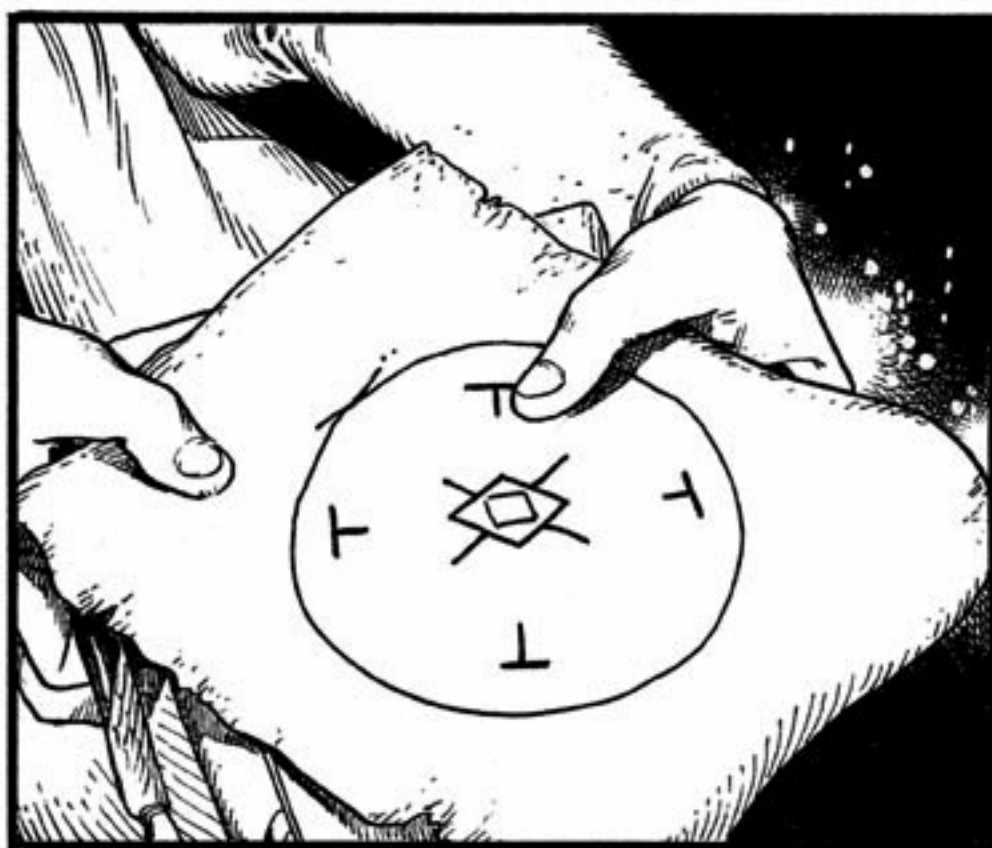
悲しい
思い出でも
あるけれど

それでも

この魔法は
私に夢を
くれたんです











この雨のせいで
階段川の橋が
崩れちゃって

川の真ん中に
辻馬車が
取り残されてる
みたい……

危ないから
誰も近づけ
ないんだって



あの馬車には
私の息子も
乗ってるんです……!

ええええ
もちろんです
今すぐ
向かいましょう

実務……!!





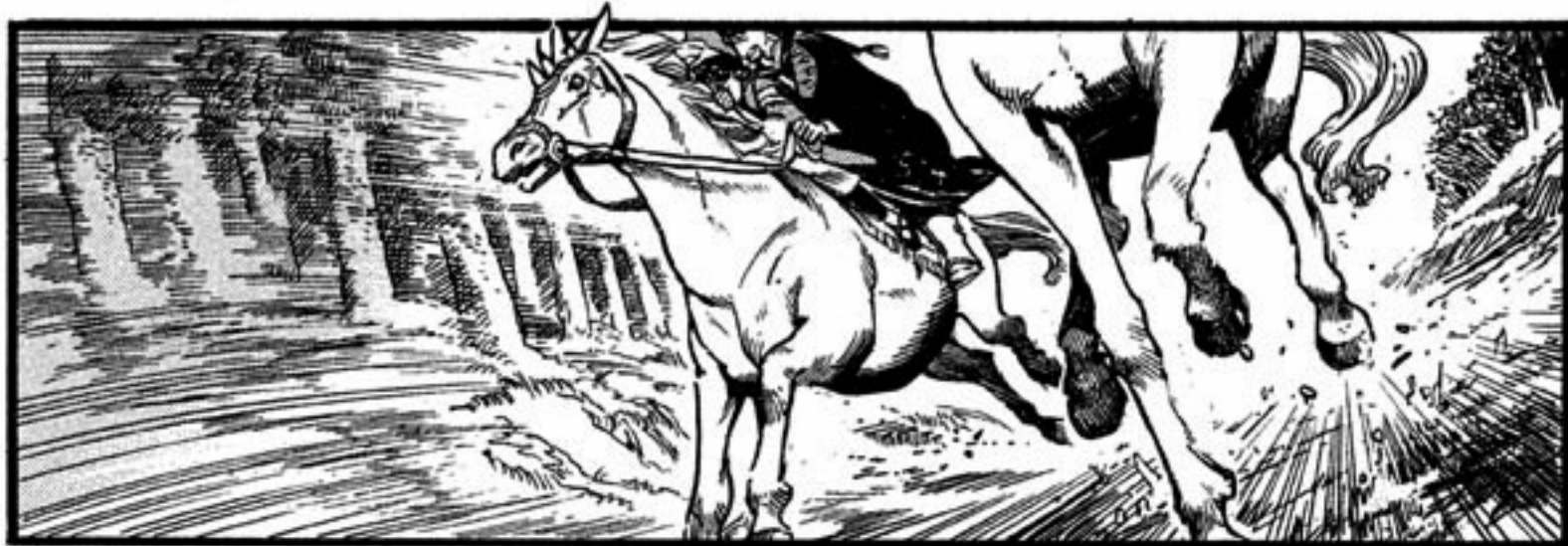
とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT







少し前

私も実務に
連れて行って
ください!!

役に立って
みせます

必ず!

アガツト...

いつもアトリエで
出す課題とは
わけが違うんだよ

魔法使いで
ない人々も
たくさん居る

彼らの前で
魔法を使うことが
許されるようになる
「第三の試験」も
まだ受けてない
じゃないか

だから
だから
だから
今はまだまだ

今じゃなければ
いつですか?



師は弟子に
経験を積む機会を
もつと与えるべきでは
ありませんか!?



自主的に練習も
積んでます
人前でも使える
ように……!

試験の準備だつて
ずっと前から
しています!



向こうで
扉窓の出口を
設置しておく



そうは
言っても……

急いで
ください!
一刻も早く
戻らなくては!!



俺が先に
行こう



未熟なことは
罪ではないのに

成長を
急ぐあまり

足を
踏み外さなければ
良いのだけど……



足場が
脆いな……

見えました
あれです

あそこ
馬車……!







あわせ指輪



指輪の形をした魔法器。
半円に割れた二面の陣を合わせると
魔法が発動する。小型なので
威力も範囲も小さい。





それだけだ



他に…
何だ？

簡単すぎて
やりがいに
欠けるか？

キ+フリ+の
懸念通り
だな

アガット
お前は
焦りすぎてる

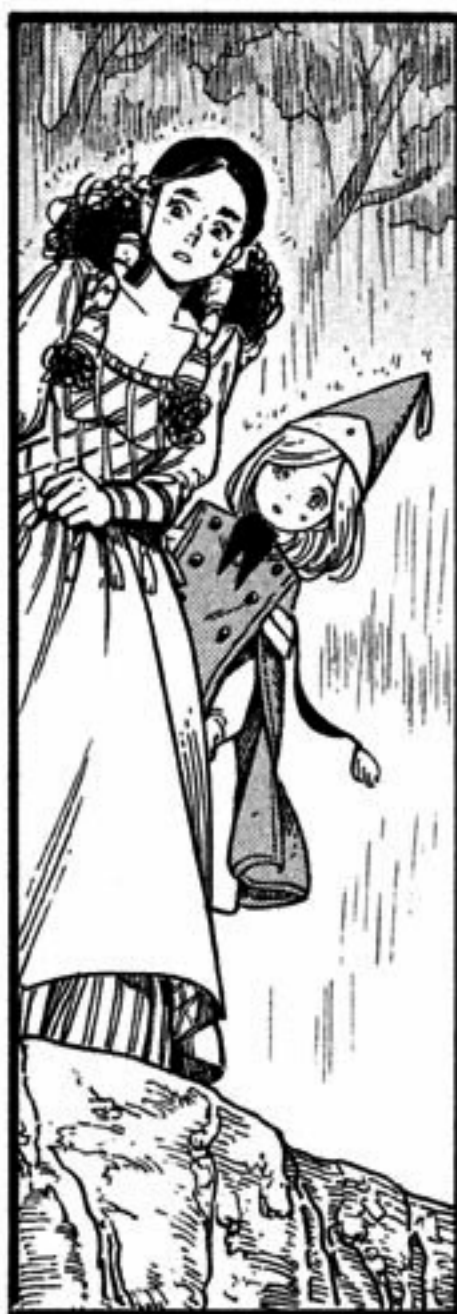


自分の力を
示したいなら
表現の場は
他にある

だが今ここで
役に立ちたい
なら

何のために
魔法を使うのか
よく考えろ







何だ
あれ…

あは
暴れ川を
剣で裂いてる!?



3人だ!
今二人目を
運ぶ

オルーギオ!
全部で何人?











これは
水裂の魔法剣
だよ



水裂^{すいれつ}の魔法剣

刃に触れたあらゆる液体を
切り裂くことができる



刃の表面に
刻まれた模様は
すべて魔法陣でね

小さな陣でも
これだけ集めたら
海だって
裂き開くことが
できるんだ



武器にかけられた
魔法は扱いに
注意がいるんだよ

危ないから
まだ君たちには
触らせられないな



キーフリー
先生…

それちよつと
持たせて

だーめ♡

小さい陣を集めた時に
魔法に起こる作用は
アトリエに帰ったら
教えてあげるからね

キーフリーー！

俺は
念のため
上流の様子を
見てくる

どこか
崩れてそうだな

じゃあ僕は
下流の被害を
確かめてこよう

テティア
一緒においで

はあい

リチエは
俺と来い

うい

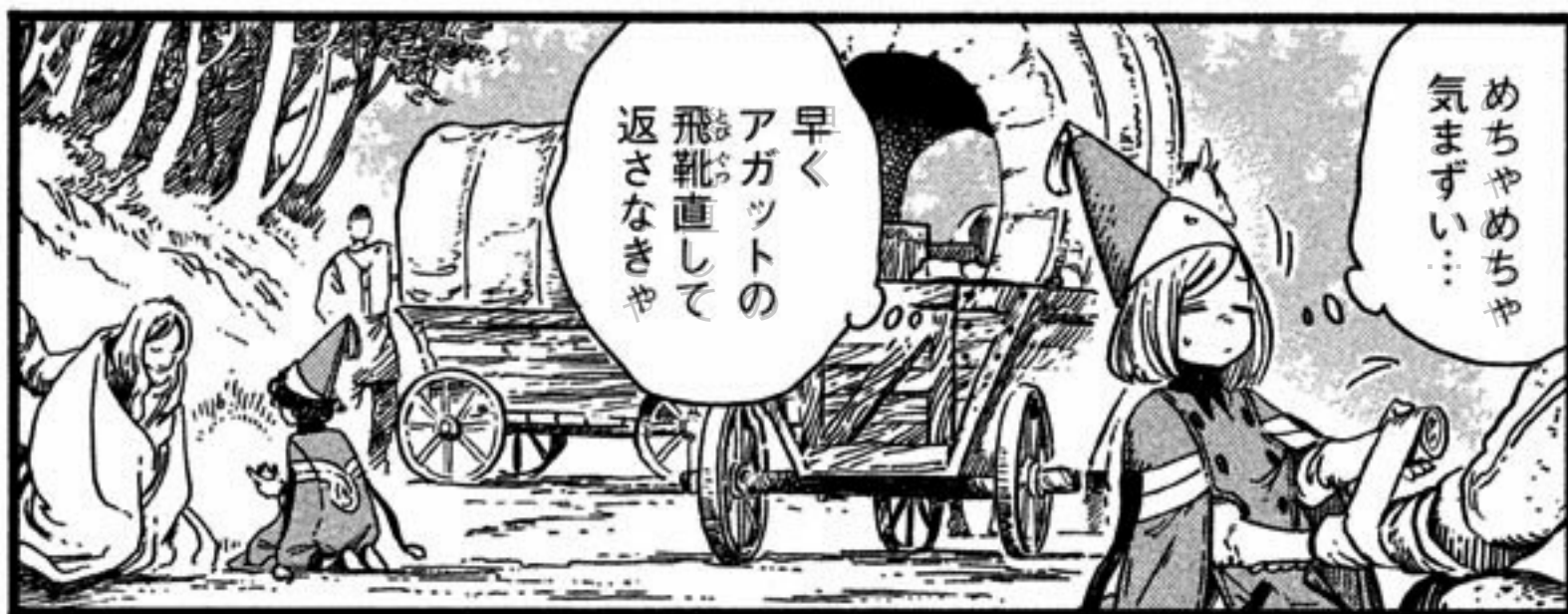
二人共
ここは
任せたよ！

すぐ
戻る

はい…

って
二人！

フシ







バカ野郎
窪んでるってことは
いっぺん崩れたって
ことだ



大丈夫だぜ
ダグダ!



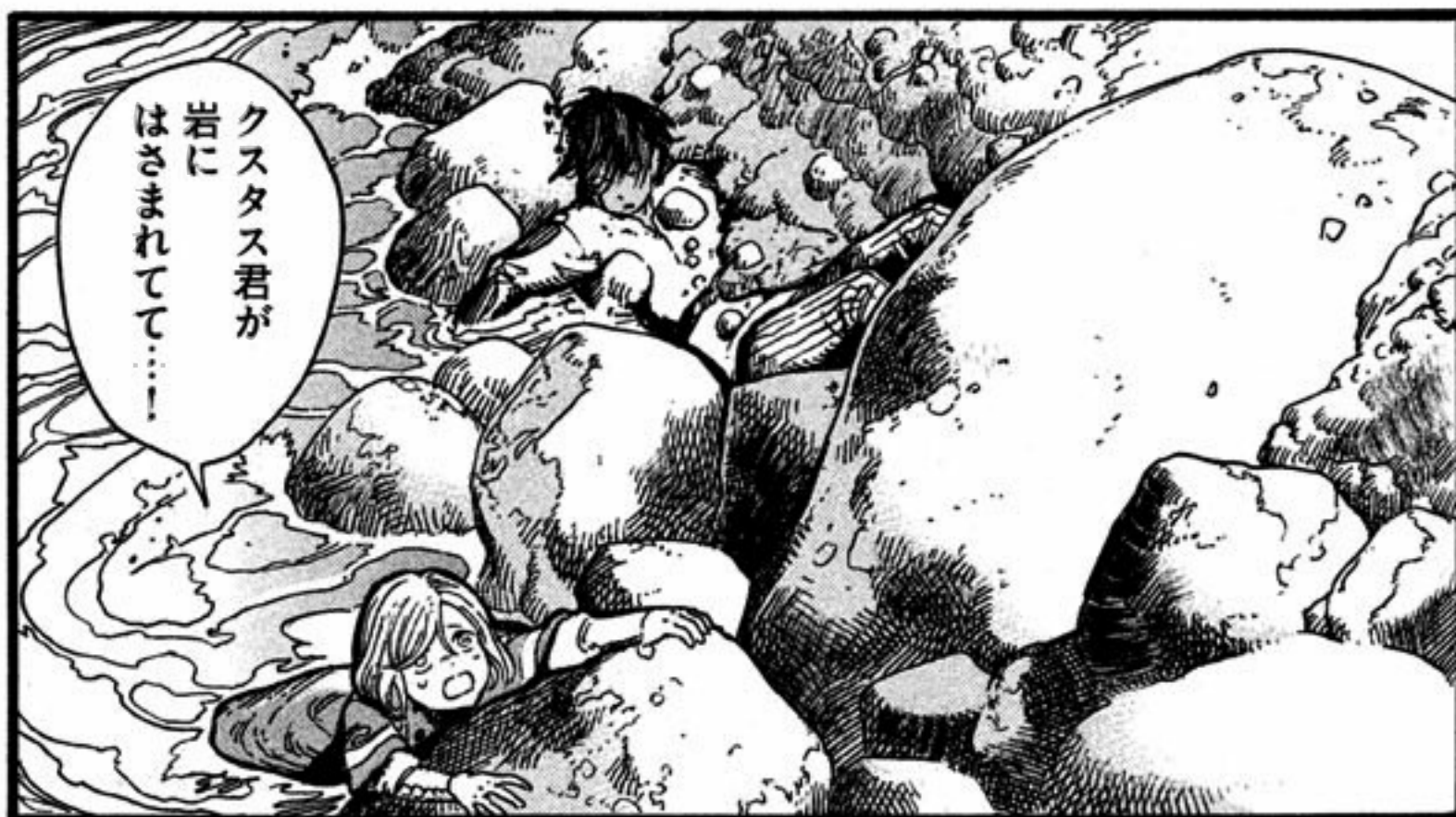
ここんとこ
岸が窪んでて
俺達の荷も
ひっかかってるんだ
拾ったら
すぐ
戻るって!



早く登りな
さ...









そうだわ
だって先生達は
いない

飛靴が
ないから
呼びにも
行けない

ココも
動けなくて

今は非常事態

私が魔法で
助けたら

「あの人」を
見返すことが
できるかも…

嬢ちゃん

今度はあんたが
魔法を使うのか

あ…

さあ
見せてみなさい
アガツト

あの娘が
魔法で
助けるってさ

できる
のか？

子供でも
魔法使い
なんだな+

次は
どんな魔法が
見れるんだ？

やめなさいよ
クスタスが
危ないんだから

だって
魔法あるし
すぐ助かんだろ





何で
思い出すの

こんな時に
何故……！

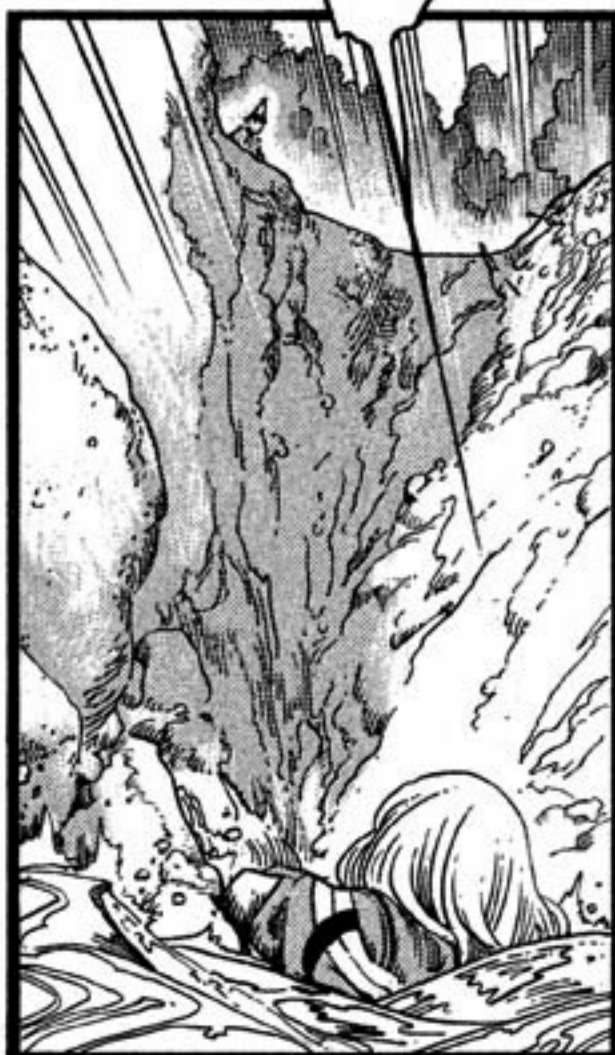


アガツト！



ねえ
何が出来る？

私
こっちから
何が出来る!!





クスタス君を
助けるために

私何が
できるかな!?



ニニニ



何のために
魔法を使うのか
よく考えろ――



今ここで
役に立ちたい
なら

状況が
知りたいわ！

そっちの
状態を
教えて！

えっと…

えっとね

窪んでる
おかげで
こだけ流れが
遅いの

流される
心配は
ないと思う！

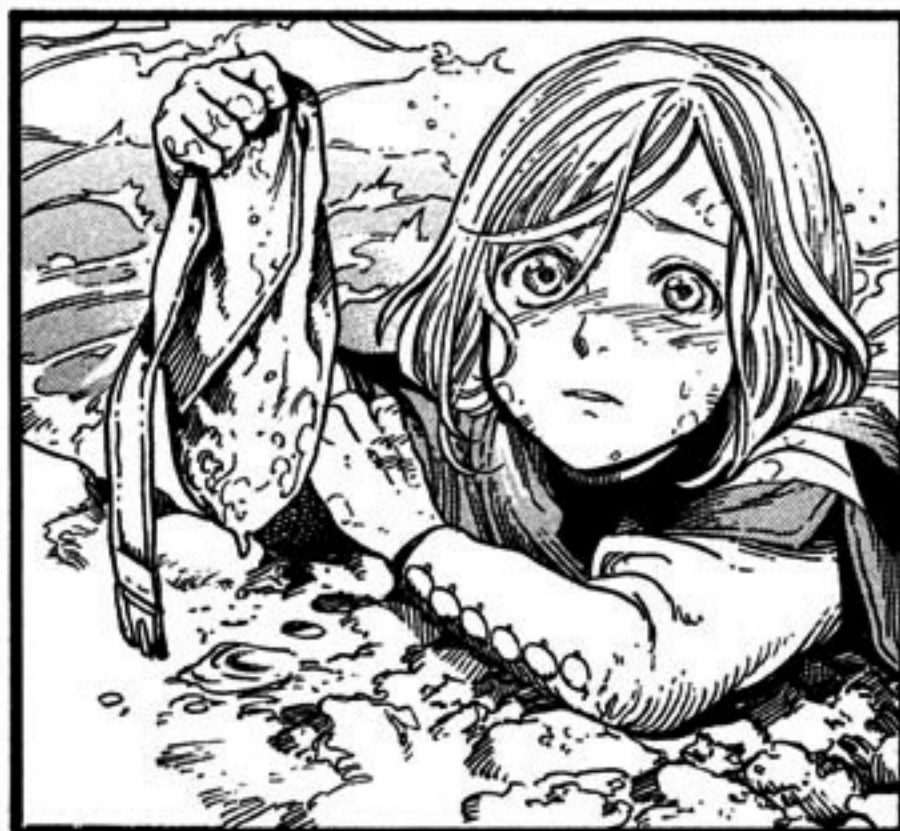
岸は
泥だらけで
滑っちゃって
登れそうに
ないし

クスタス君は
意識がなくて

岩は大人でも
動かせそうに
ない大きさ…

でも
ちよつとずづつ
水嵩が
増してるから

あんまり
時間は
ないかも…



……

アガツト……!

どうしたら
いいの……!?



大講堂
魔警団本部

イトスヒトス
様

先程
カルン近郊の
村より報告が

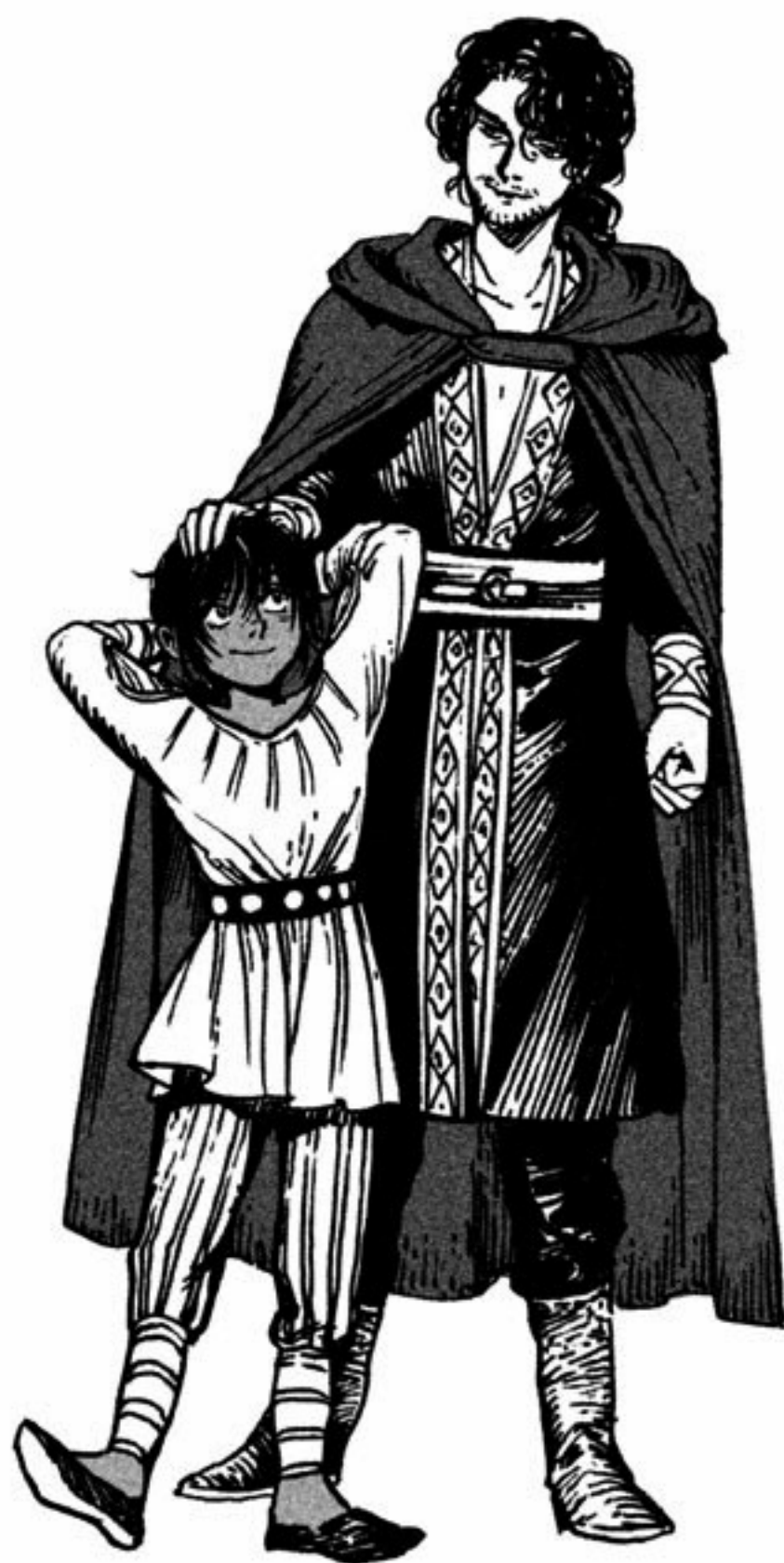
何でも
上流の泥森に
巨大な水柱を
見たと……

向かおう

とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT









魔法使いが
「知らざる者」の前で
魔法を描く時は

その長い外套で
完全に手元を
隠さなきゃならない

そのため
両の目では
魔法陣を確認できず

指先の記憶のみで描く
はなれ技が
必要となる……

こんな
八方塞がりの
状況で

あの子はまだ
諦めてない

だけど

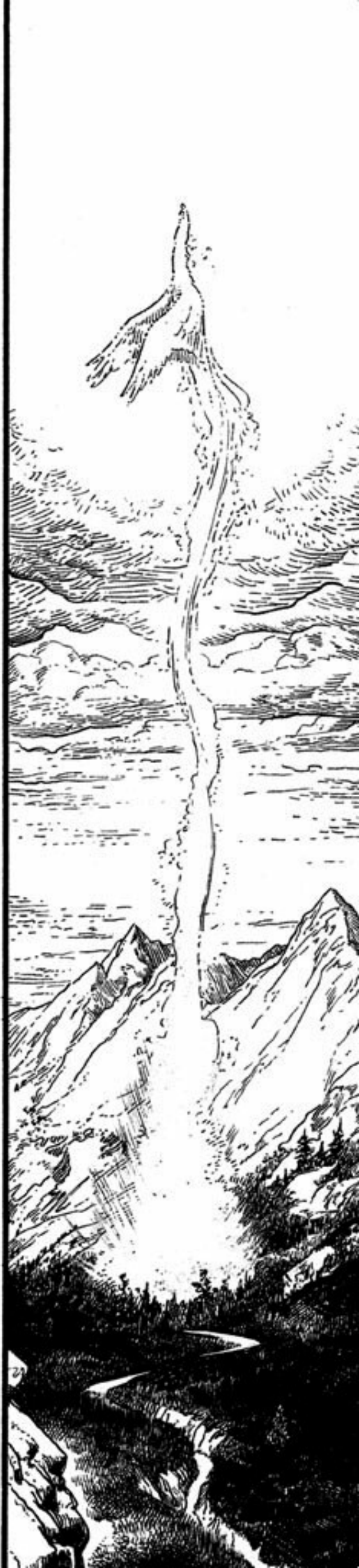
ココには
無理だわ







私なら……！





浮遊の魔法は
殻芋で練習した
ばかりだもん！



できる

きつと

私でも
できる！





あれ…俺
アンタは…？

よかった！
気がついたん
だね



クスタス君！



私はココ！
魔法使い

私達
上から
落ちたの

覚えてる？



あつ

あれ？



じゃあ俺
まだ生きてん
のか…

光の鳥なんか
見えてるから
てつきり
死んだのかと…



友達の
魔法…

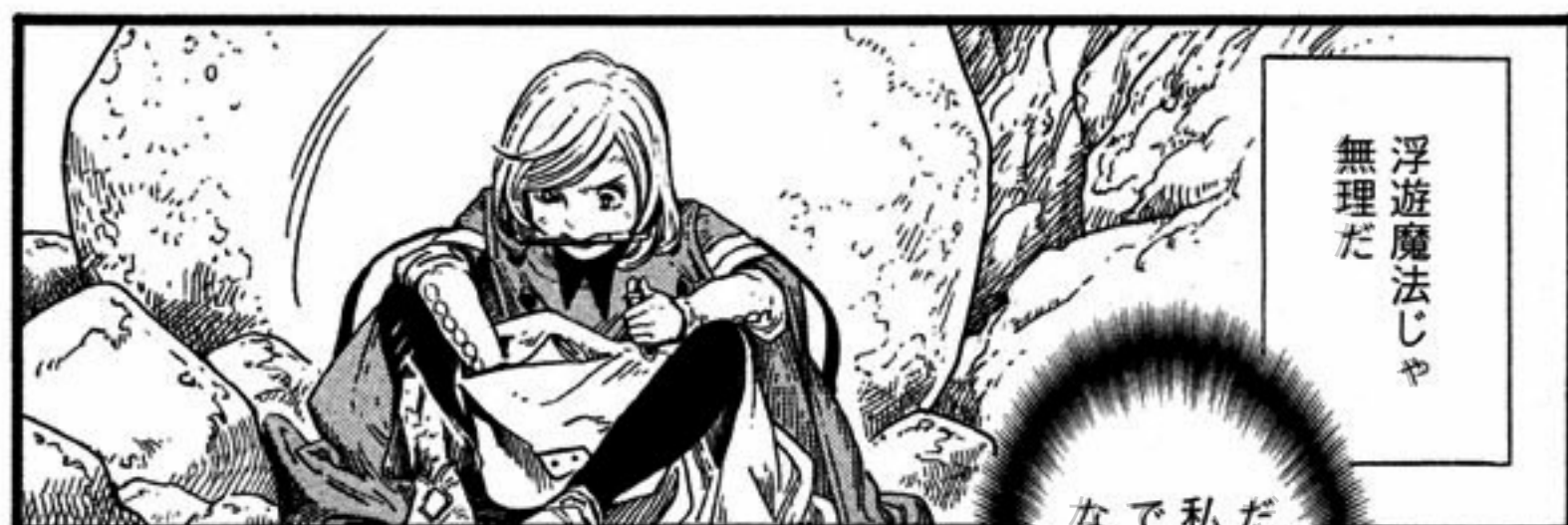


あれは
死の遣いじゃ
なくて
魔法だよ！

私の
友達の
魔法なの！

おたは

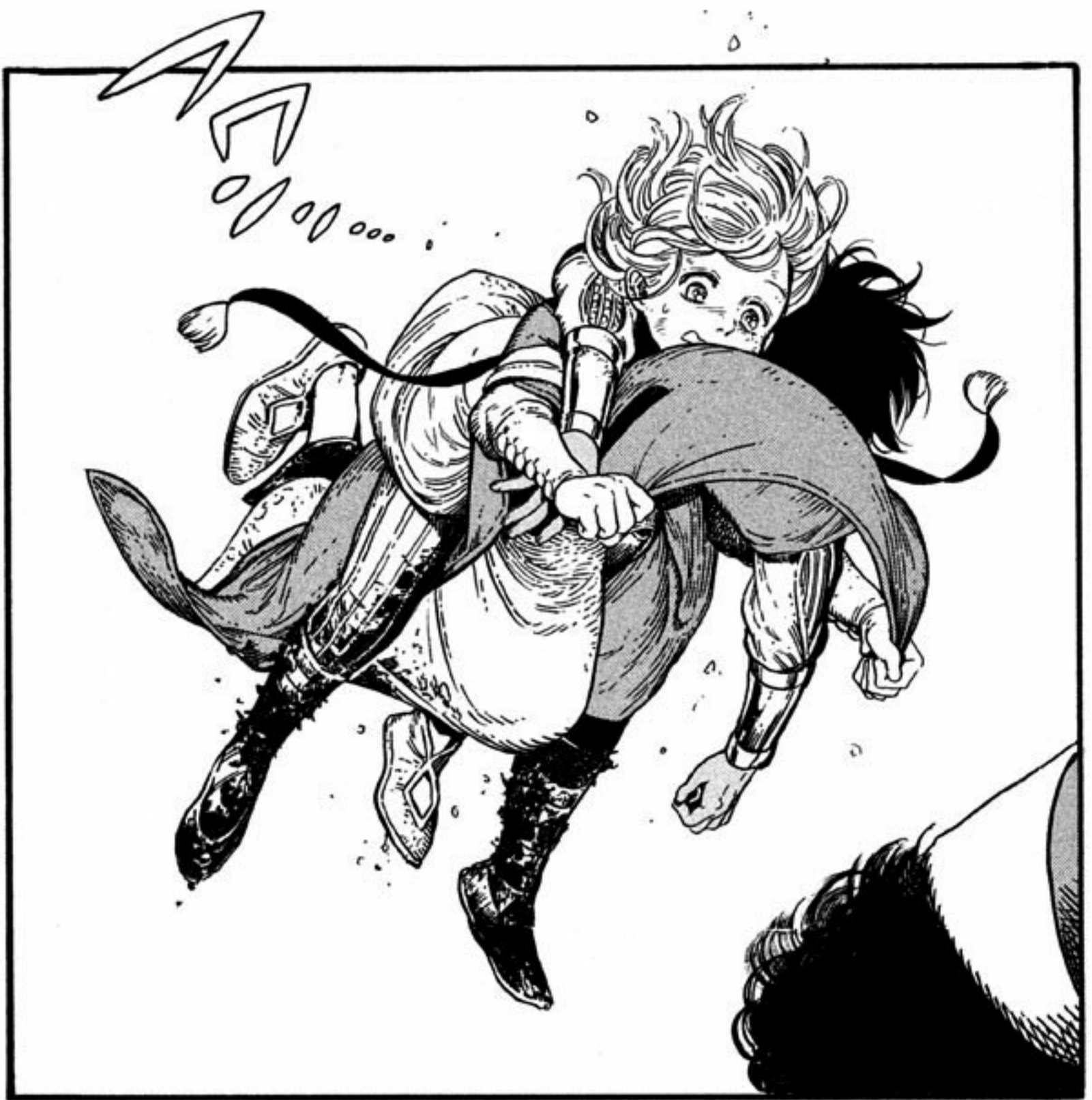
おたは



これだけ
目立つ魔法
なら

だけど
私の魔法で
できない
なら……！







うまくいって
よかった

どうしようかと
思った

本当に本当に
よかったよお



よかったあー!!

ちよ



うん

「岩を崩す」魔法に
つい最近
助けられたのを
思い出したの!



ちよつと
やめてよ
離れなさい

あなた
あの状況から
どうやって…

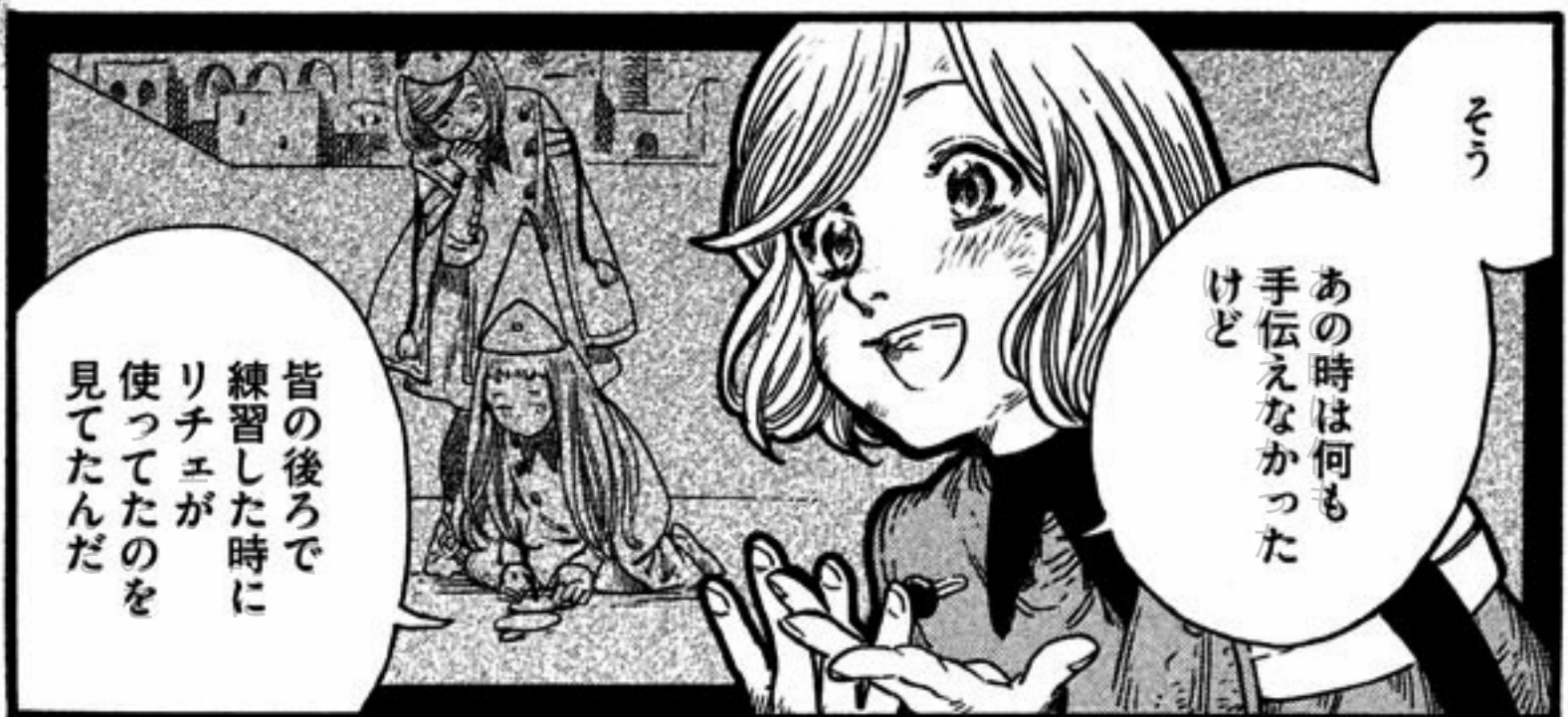


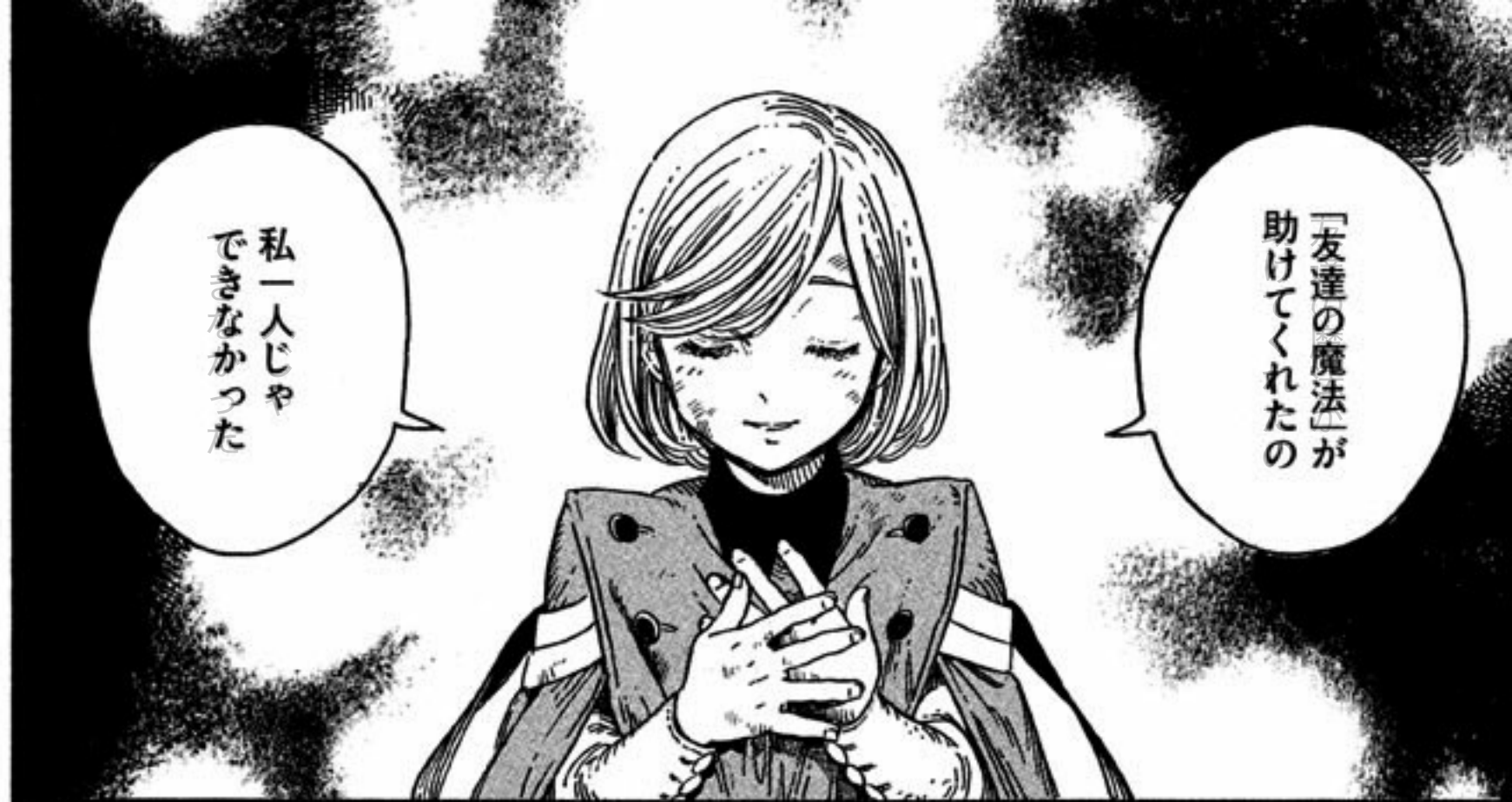
何?
これ…

…砂?
砂?



ザラ





「友達の魔法」が
助けてくれたの

私一人じゃ
できなかった



光る鳥見て
思い出したんだ

助けてくれて
ありがとう！
アガツト



それに
友達になった
覚えは…



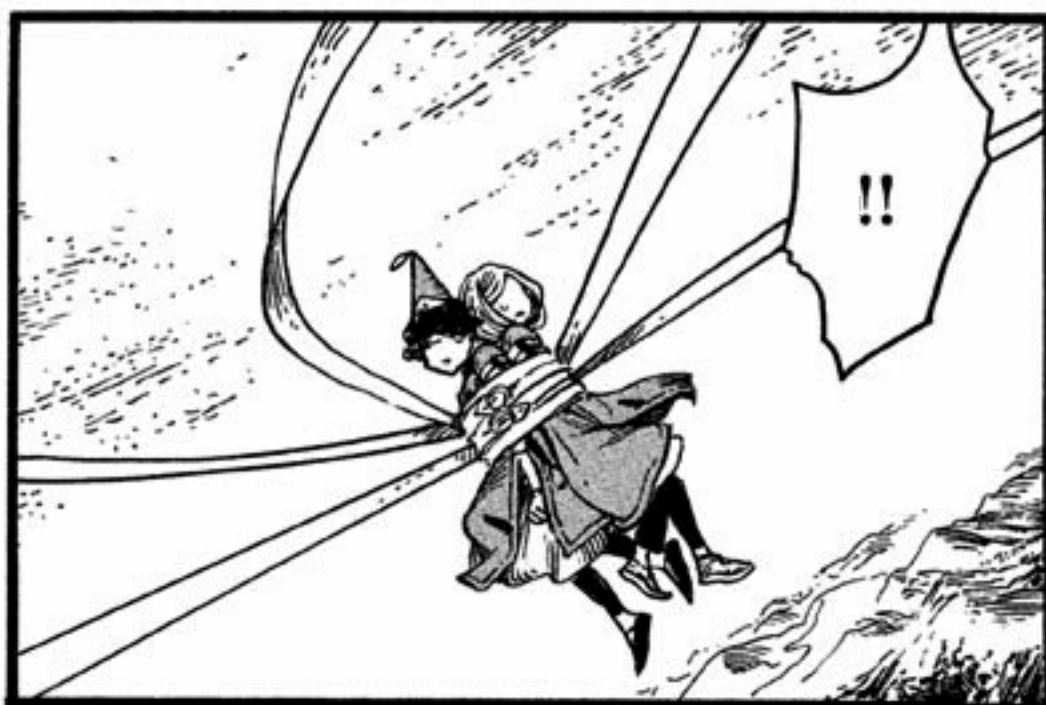
光ののろしは
先生達を
呼び戻すためよ

効率よく
二つの目的を
兼ねたの

自分だけの
ためだと
思わないで

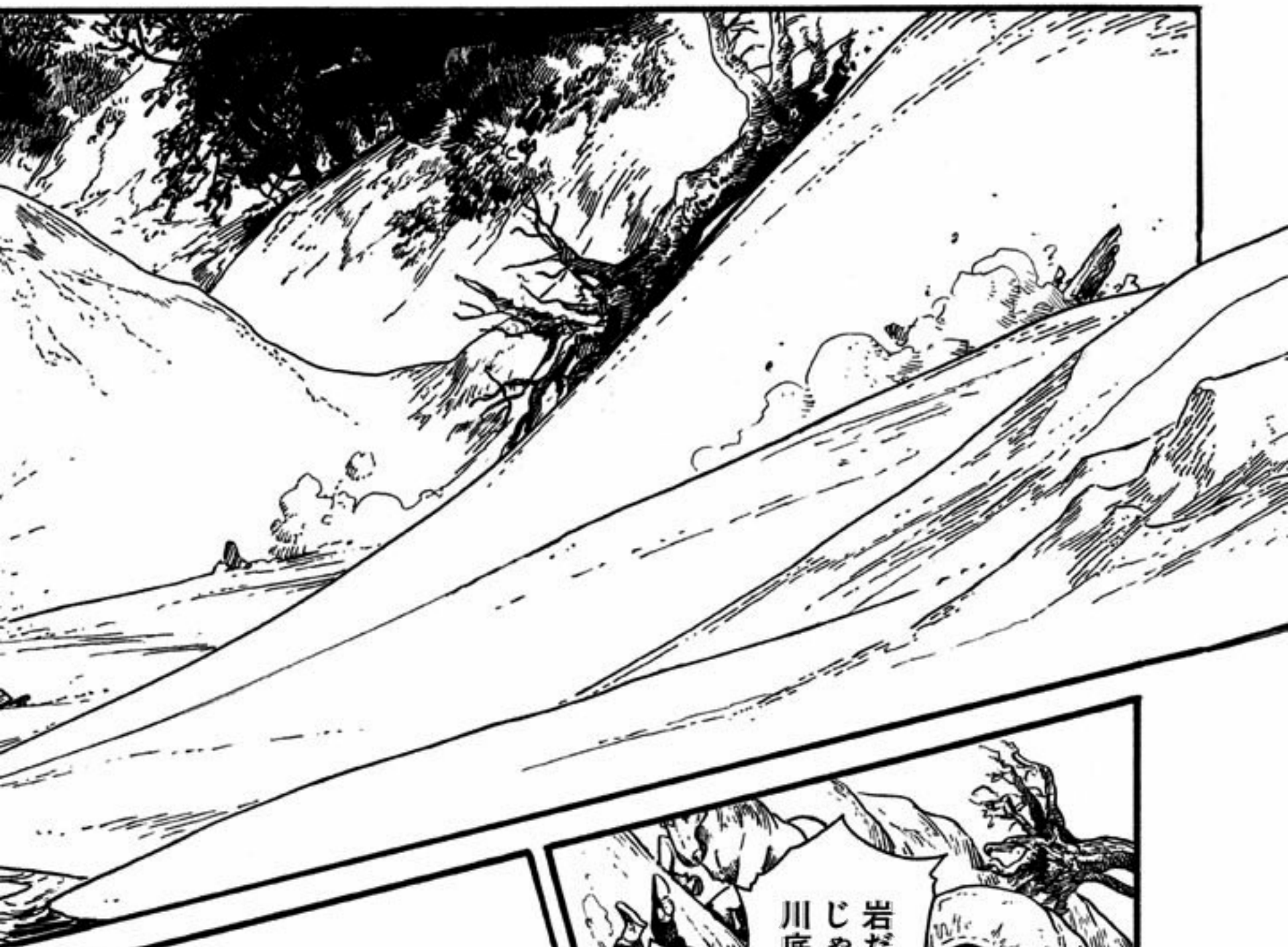












岩だけ
じゃなくて
川底まで

辺り一面が
砂に…!!

川まで碎けて
霧になつて…!!



そうか
これは
お前の魔法か

ここまで
範囲が大きな
わけない

うそ…

こんなの
描いてない





「とんがり帽子」の衣装

アトリエごとにデザインが異なる魔法使いの衣装について簡単に解説します。

◆とんがり帽子

魔法使いが被ることを義務付けられている「とんがり帽子」。

デザインに関するルールは、2つだけ。

- ①顔が隠れる「つば」を付けてはならない。
- ②頭頂部が隠れる円錐形であることが望ましい。

◆マント

人前で魔法陣を描く時に手元が上手く隠せるように、魔法使いは必ずマントを身に着けている。指先の感覚だけで魔法陣を描く必要があるので、魔法使いは「目をつぶって魔法陣を描く」練習を何度も何度も行う。

◆飛靴

多くの魔法使いが、移動手段として空を飛べるように、飛靴を履く。歩いたり、多少の水が付いたりしても落ちにくい魔墨で魔法陣が描かれているが、びしょびしょになるまで濡れてしまうと、消えて飛べなくなる。(1巻・第4話参照)

アトリエによって様々なデザインがある。顔を隠すのが禁止されたからつばのない現在の形になった。

魔法の道具や手元を隠したりするのに便利。

飛靴

空の上で脱げないようにサイズのある靴を選ぼう!



ATELIER OF WITCH BAT
ARTWORKS



KAOMO SHIRAKAMA

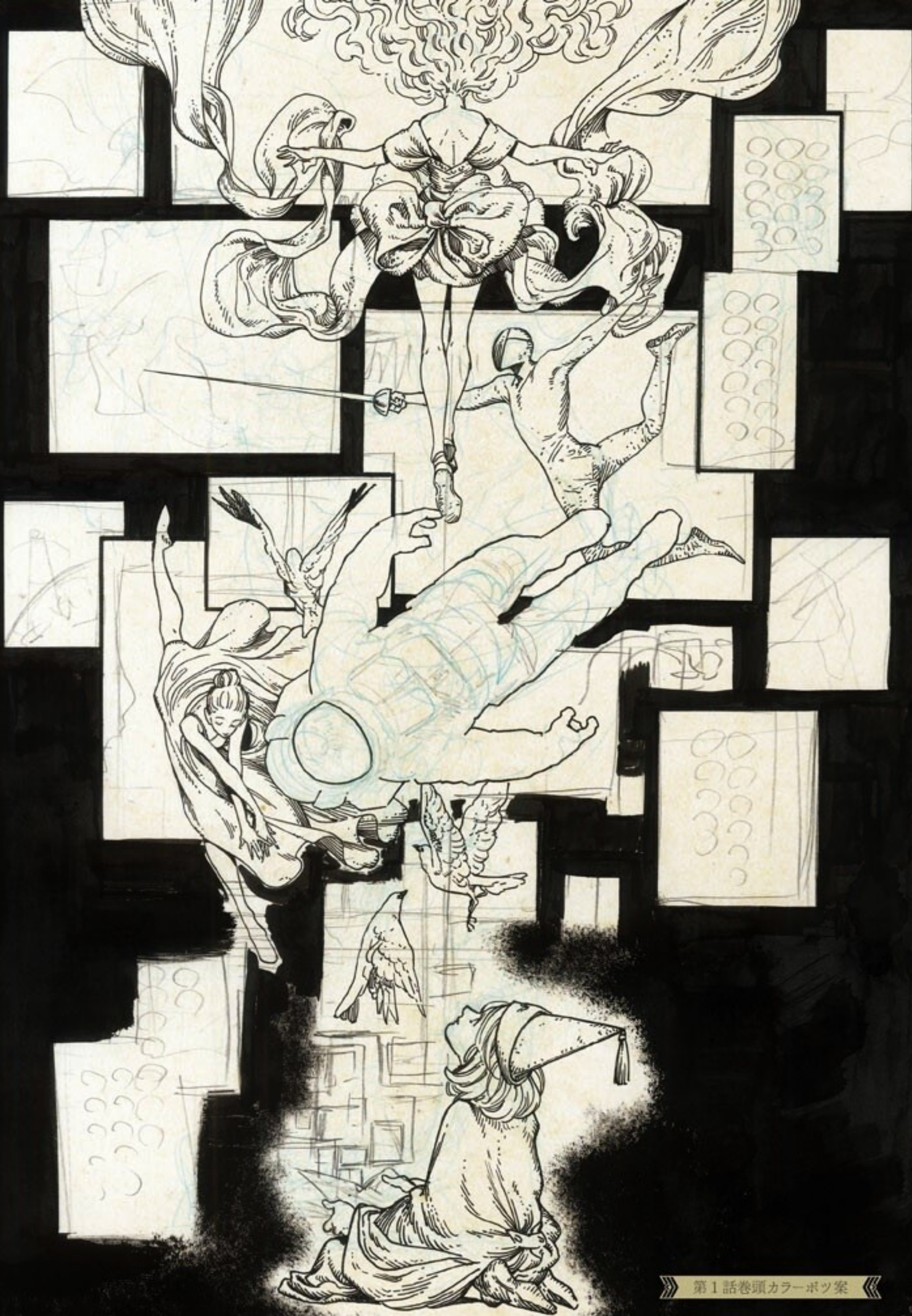


ATELIER OF WITCH HAT ARTWORKS

KAMOME SHIRAHAMA































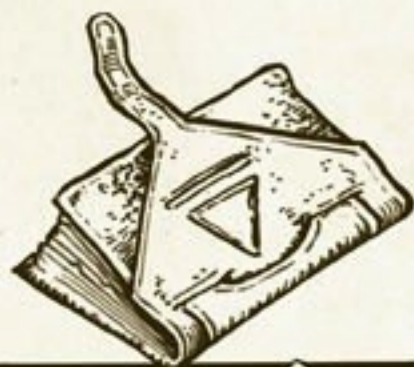




四人の司書が与える“試練”

三人の賢者が隠した“秘密”

三人の魔法使いが抱く“罪”

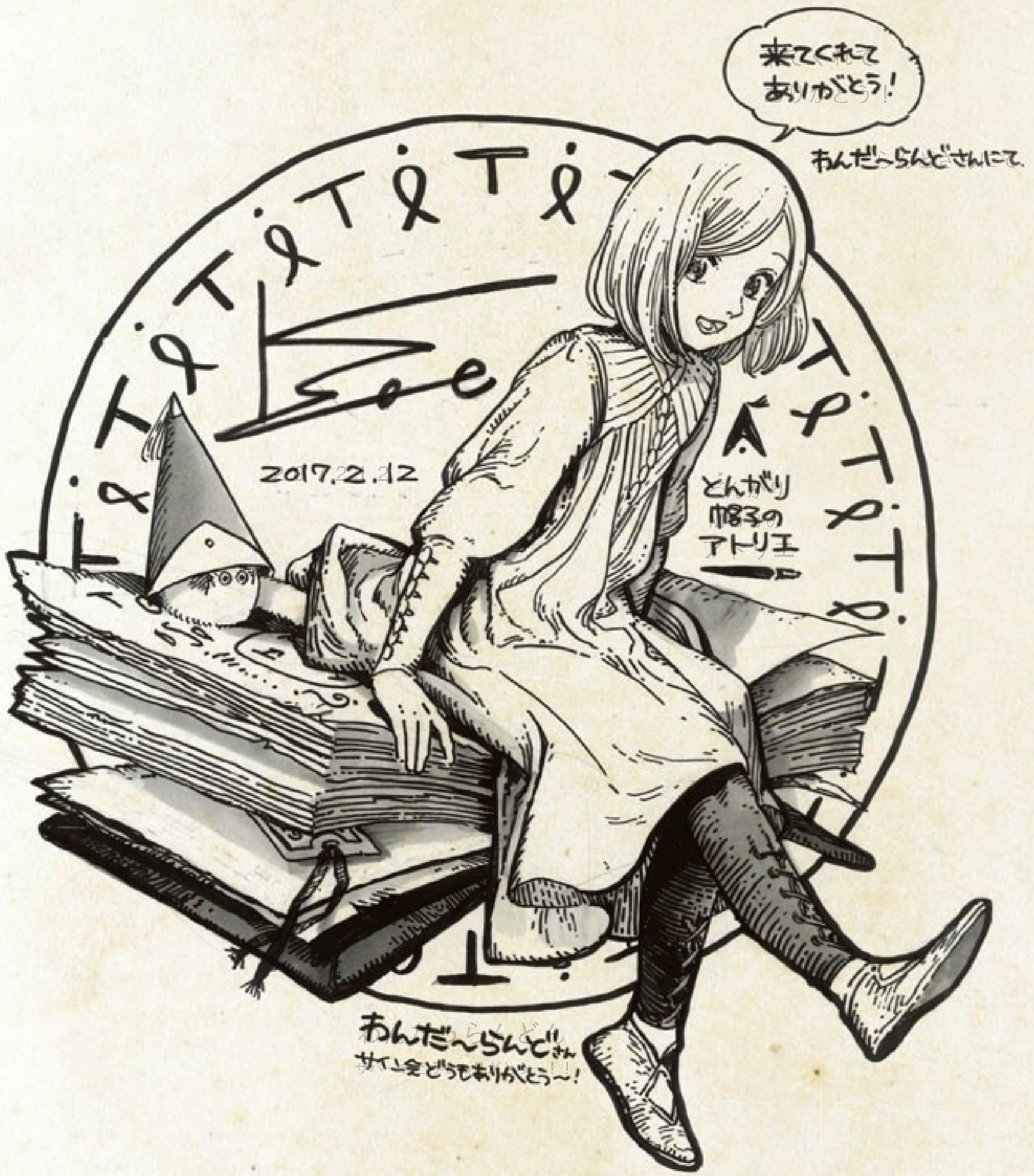


これは



一人の少女が描く“物語”





》 2017年サイン会記念イラスト 《

とんがり帽子のアトリエ初期設定ラフ集



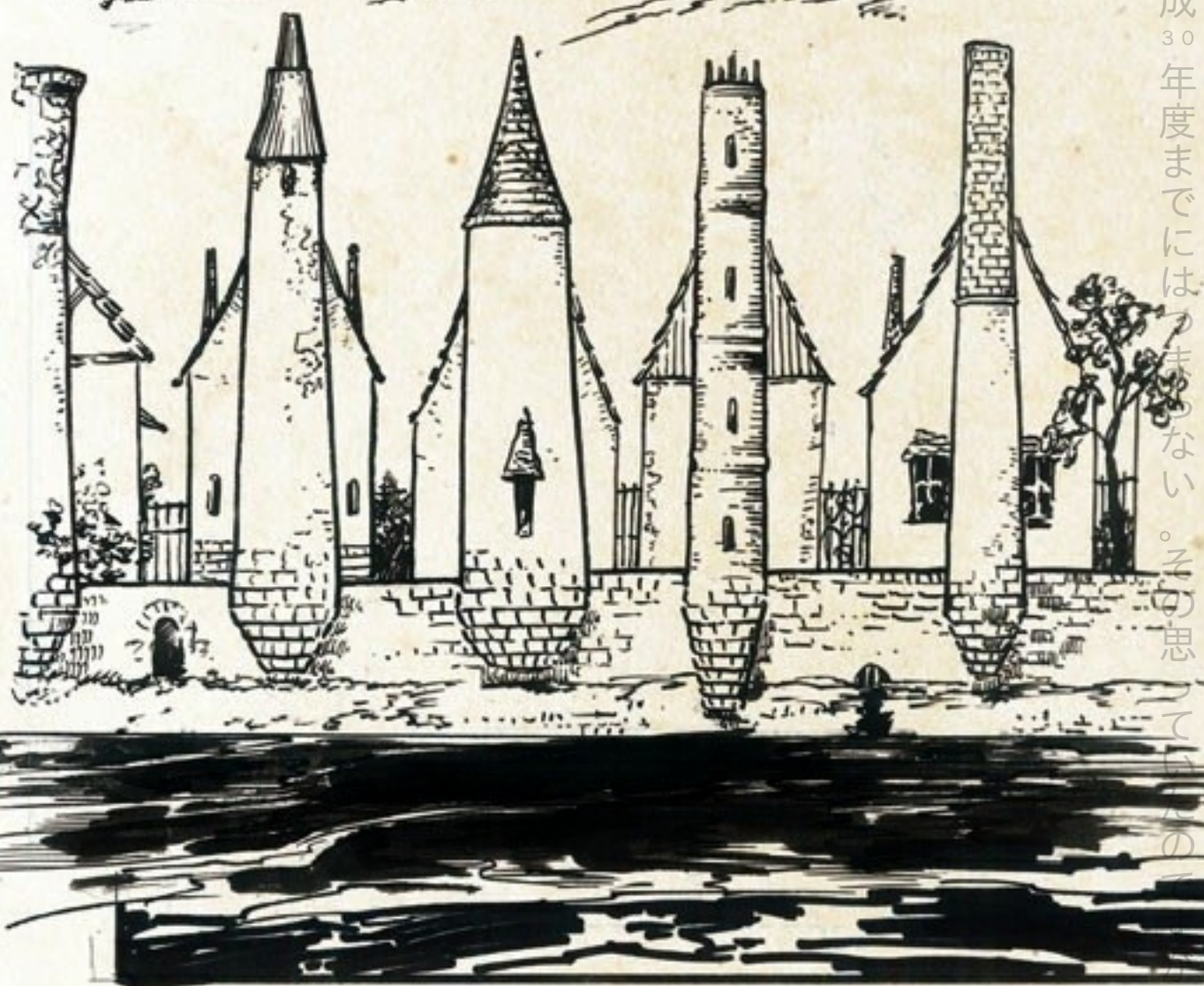
「魔法の質が魔法師の精度で決まる世界」というのが最初に浮かんだイメージでした。火や街灯など、生活のあらゆる面を魔法が支えている。そうした魔法を創作する一流の魔法描きになるには何らかの技術を身に着けなければなりません。その道は、平和なのに険しく、時間はあるのに焦りが募り、仲間はあるのに孤独な自分との戦いが続くという、現実の世界でも共感しうる悩みを意識して描いています。当初は魔法学校の物語で考えていましたが、連載では、舞台を絞って小さなアトリエという形になりました。さまざまな悩みを抱えた少女たち、魔法使いの世界の秘密…これらがココの登場でどう変化していくのか、物語の大筋は当初のアイデアから変わっていません。

最初は、それぞれの魔法使いが「塔」に住んでいるという設定でした。塔の内部は空洞になっていて、煙突のような構造をしています。塔の中でどんな失敗をしても、レンガに阻まれて外に漏れない魔法の影魔法の練習場として考えていました。

ガラス屋根

土着の魔法使いが実際に

作業部屋と
なるスペース



平成30年度までにはつまみない。その思

田舎の丘陵地ではぼつぼつと塔が建っているだけで、中心地に行くと通りに密集しているイメージでした。連載では、多々の魔法使いが「大講堂」や「カルン」のような大きな場所に集まっている設定になっています。

中
通
り
の
あ
ま
り
な
い
ま
が
た
く
さん

登場人物の初期設定です。一人見慣れない打扮が……。キーフリーは当初、もっと牧歌的な人物になる予定でした。下のアトリエの外観や内観も、実際の設定とは異なっています。





右がキーフリーの初期案です。

左のキーフリーの友人・アライラは、最初は「道具屋」という設定だった。



キーパー

オルーギオ

デザイン
会社に
います



オルーギオは初期設定がほぼ変わっていません。
魔法使いの衣装は男女ともにユニセックスな印象でデザインしています。

日と月の
シン

ココの
下着
(& ママ)



えりもとに
↑ ピース

ニット
ジャケット
おごあもこまこ
(すみでもいい)

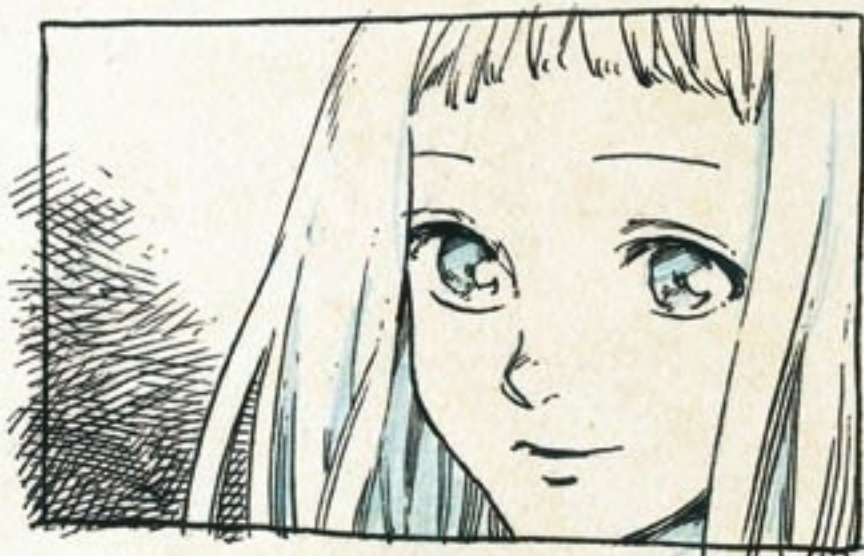
← もえそで
アームカバー



もうちょっと
田舎女感
あ、こもよい

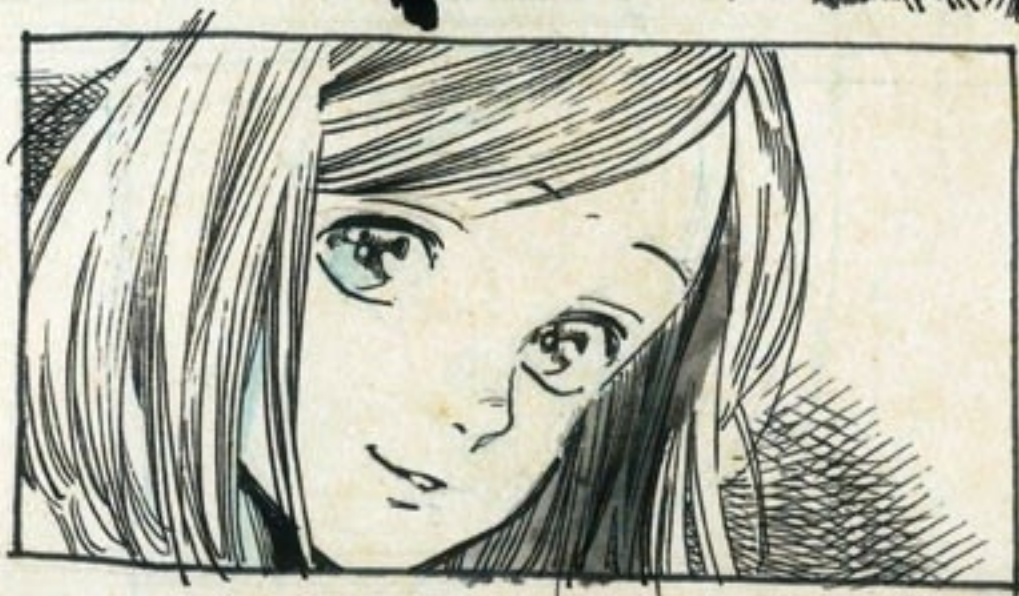


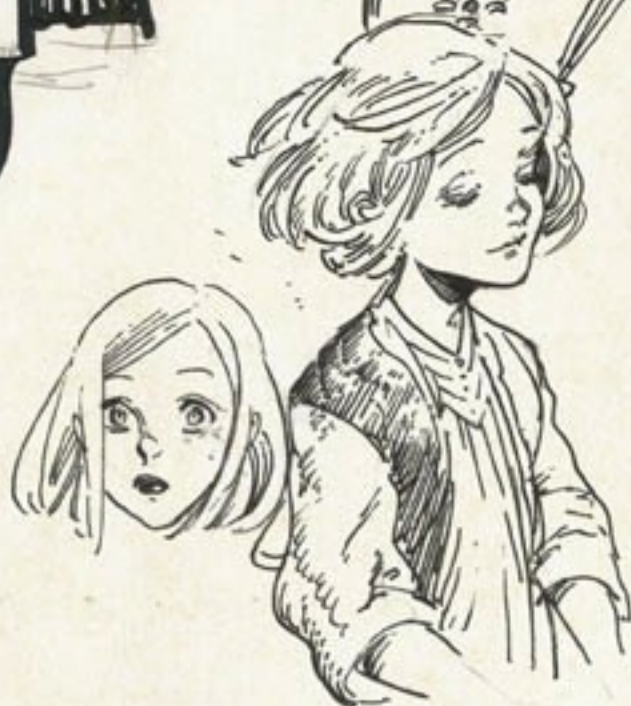
生まれた村に住んでいた頃のココの衣装初期設定です。決定稿ではもう少し簡素な衣装にしました。左の帽子を被った魔法使いは、作中では「絵本を売った魔法使い」と名付いて登場している人物の初期案です。



練習で、なんと一
 描いた人物画で
 表情のイキが細
 を描くように、細
 のですが、詳細
 は忘れてました。
 ろどころインク
 を落した跡が……。

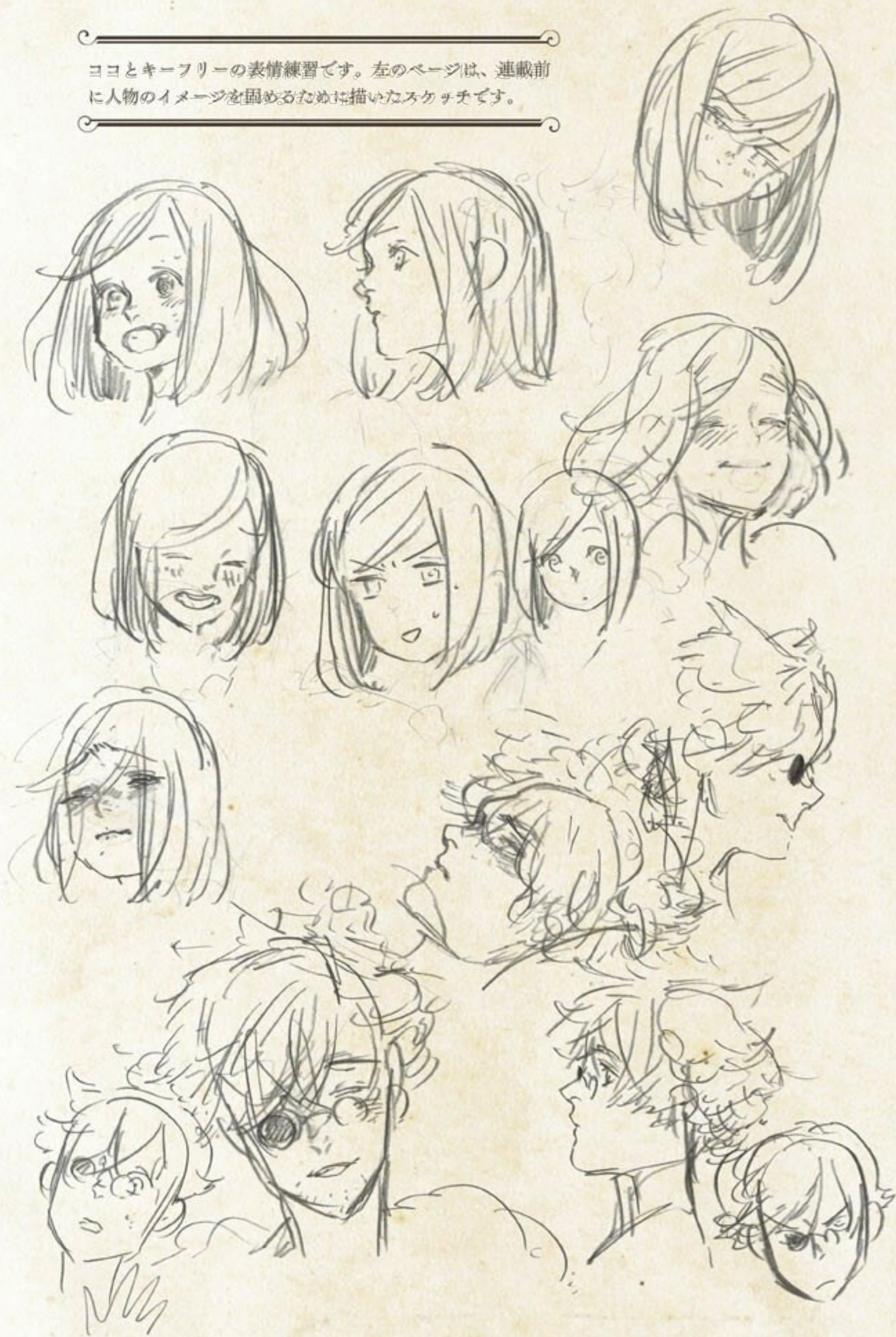
人物
 門

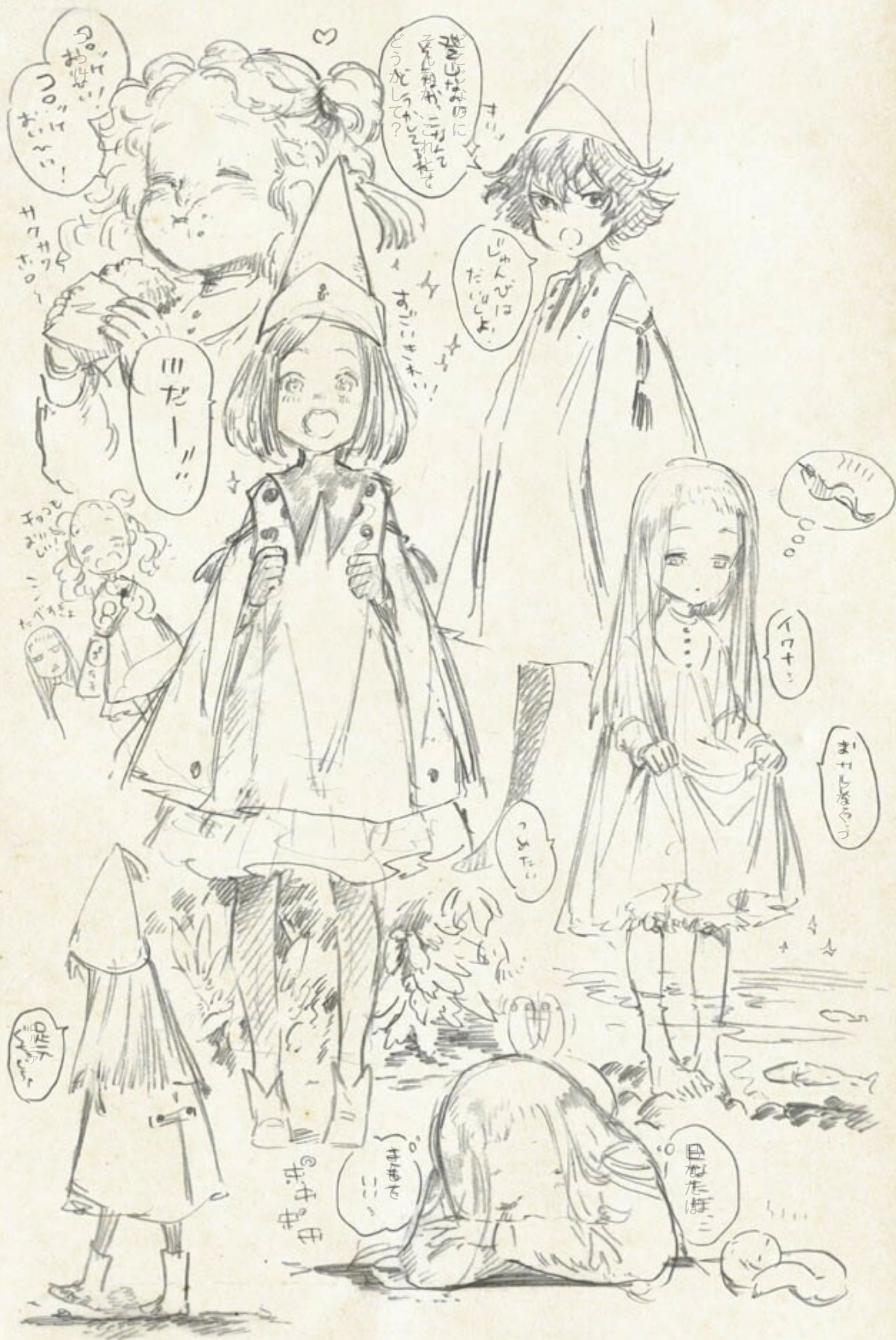




たくさんあるクラブクラウドでしたが、現在の通販情報のお問い合わせに関する情報があります。お客様からご利用いますが、そのままでもお願いしますでした。

ヨコとキーフリーの表情練習です。左のページは、連載前に人物のイメージを固めるために描いたスケッチです。







とんがり帽子のアトリエ 2

◆ 特装版付録 ◆

ATELIER OF WITCHES & ARTWORKS

◆
自 浜 鷗

◆
装丁 SAVADDESIGN

ARTWORKS



とんがり帽子のアトリエ2巻
特装版付録

ATTACHEMENT OF WITCH HAT

月額
500円^で

毎週モーニングが
読める!

読める

週刊

「ウェブでもアプリでも! 電子で読むモーニング。」

DEEJ

Dモーニングとは…

漫画雑誌「モーニング」が

丸ごと読める電子版。

2018年11月20日に開けて電子版。

毎週木曜0時に最新号を自動配信、

有料会員登録後の号は

すべてバックナンバーに保存されるなど

電子ならではの利点がたくさん!



スマホ

でも



タブ
レット

でも



PC

でも

あなたのお好きな端末で

毎週「モーニング」をお楽しみください!!

※一部、紙のモーニングとは内容が異なります。

今すぐ

Dモーニング



で検索!

※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

とんがり帽子のアトリエ (2) 特装版

2017年8月11日発行(01)

著 者 白浜 鷗
©KAMOME SHIRAHAMA 2017

発行者 森田浩章

発行所 株式会社 講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽 2-12-21